

決算説明会 (2011年6月期)

2011年8月15日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性のあることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q(累計)：第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

注)2010年6月期よりセグメント及び品目の表現が変更されています。

アジェンダ

業績概要及び予想

- ▶ 2011年6月期連結業績概要
- ▶ 2012年6月期連結業績予想
- ▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

2011/6期の状況

■事業環境

- ・円高の状況が継続。欧米の景気は依然不透明
- ・東日本大震災の発生

■ポジティブ要因

- ▶スマートフォン、タブレットPC関連ビジネスが好調
 - ◆低温ポリシリコン、有機EL、タッチパネル、メモリなど
- ▶エネルギー・環境関連ビジネスが堅調
 - ◆LED(一般照明、バックライト等)、パワー半導体など
 - ◆EV用急速充電器ビジネス

■ネガティブ要因

- ▶液晶TVの販売不振でパネルメーカー各社減産
 - ◆マテリアル事業(スパッターターゲット)が大幅減収
 - ◆中国などで大型液晶ラインの増設計画の延期相次ぐ

■多額の損失を計上

- ▶東日本大震災で特別損失を34億19百万円計上
 - ◆青森県八戸工場で出荷準備中の装置、たな卸資産が津波被害で滅失
 - ◆八戸工場、筑波超材料研究所等の建屋修繕費 など
- ▶マテリアル事業、マスクブランクス事業で減損損失を57億81百万円計上

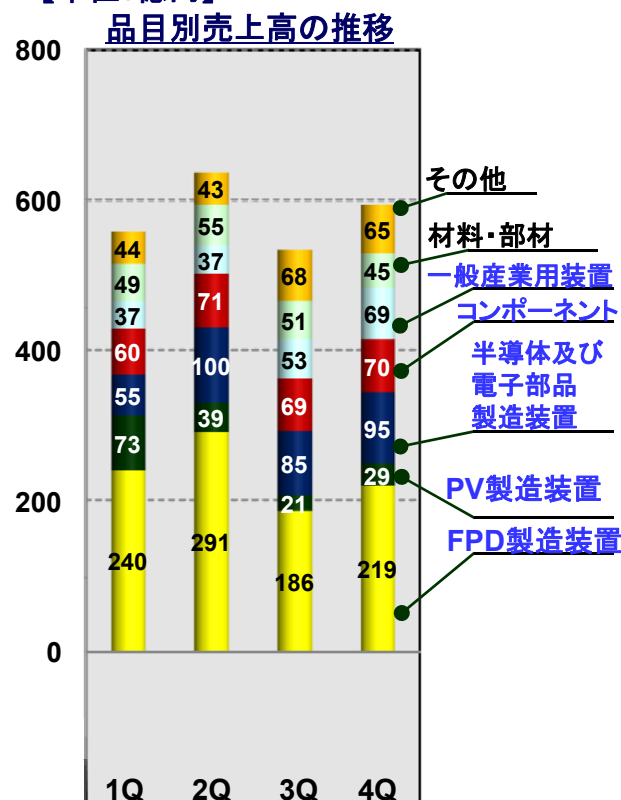
2011/6期業績

受注高は、スマートフォン関連の影響でFPD、半導体、一般産業用装置が予想値を上回る。
 売上高も、同様の理由でFPD、半導体、コンポーネントが予想値を上回る。
 利益は、マテリアル、PV事業が低迷で大幅減益。PVで貸倒損失を計上。東日本大震災で特別損失を計上し、マテリアル及びマスクブランクス事業の減損処理。当期損失の計上。

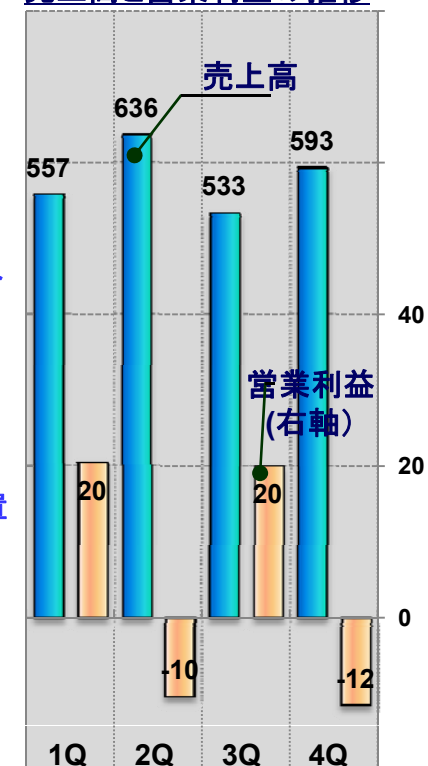
【単位：億円】

	10/6期	11/6期	
		予想	実績
受注高	2,217 (+29%)	2,300 (+4%)	2,359 (+6%)
受注残高	1,083		1,109
売上高	2,218 (-1%)	2,300 (+4%)	2,320 (+5%)
営業利益	48 (+38%)	57 (+19%)	19 (-62%)
営業利益率	2.2%	2.5%	0.8%
経常利益	49 (+492%)	45 (-9%)	14 (-71%)
経常利益率	2.2%	2.0%	0.6%
当期純利益	21 (+164%)	4 (-81%)	-87 -

【単位：億円】



売上高と営業利益の推移



【 ()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

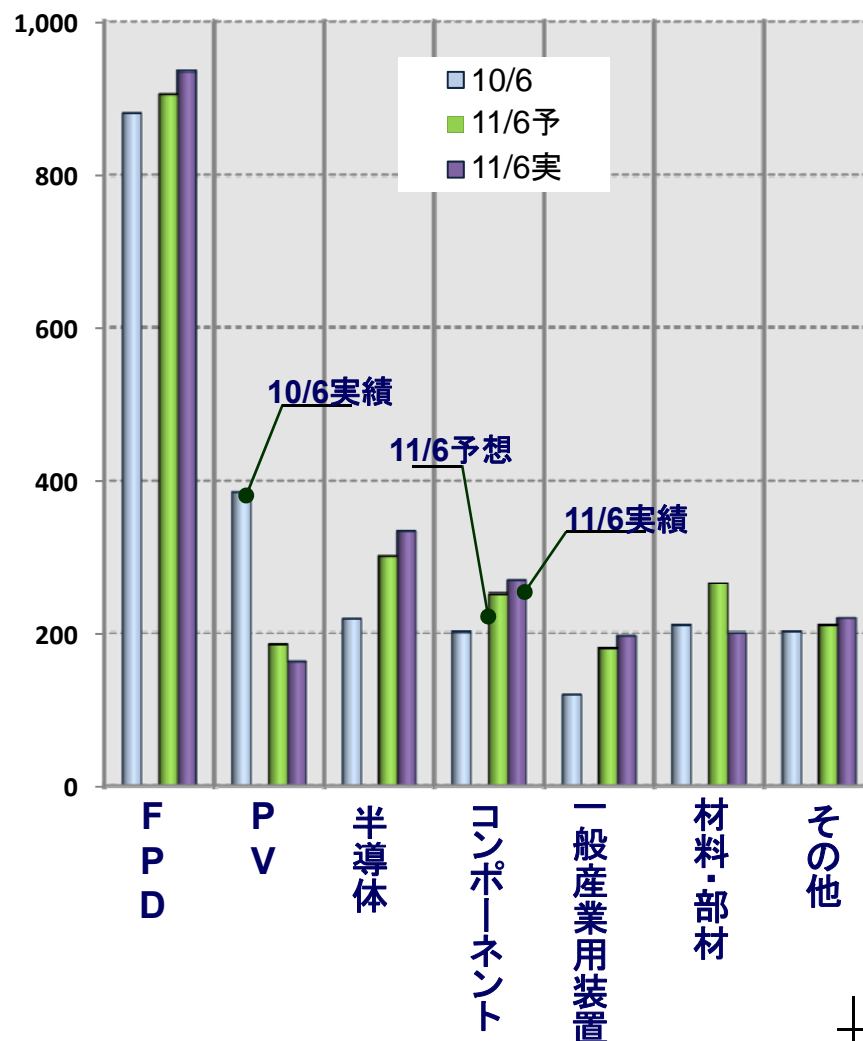
品目別売上高の実績

【単位：億円】 品目別の差異(前期比、予想比)

2010/6期		2011/6期			主な変動要因
セグメント及び品目		予想 (2/10 発表)	実績 売上高	予想比 (増減率)	
真空機器事業	1,805	1,823	1,900	4%	
FPD製造装置	881	906	937	3%	中小型液晶、有機EL関連が堅調
PV製造装置	385	185	163	-12%	薄膜シリコン太陽電池への投資低迷
半導体及び電子部品製造装置	218	301	335	11%	メモリ、LED関連が好調
コンポーネント	201	251	271	8%	FPD装置用ポンプ、小型ポンプが好調
一般産業用装置	119	180	196	9%	タッチパネル、中国向けが好調
真空応用事業	413	477	420	-12%	
材料・部材	211	266	200	-25%	パネルメーカーの大幅減産と価格競争激化
その他	202	211	220	4%	ほぼ予定どおり
合計	2,218	2,300	2,320	1%	

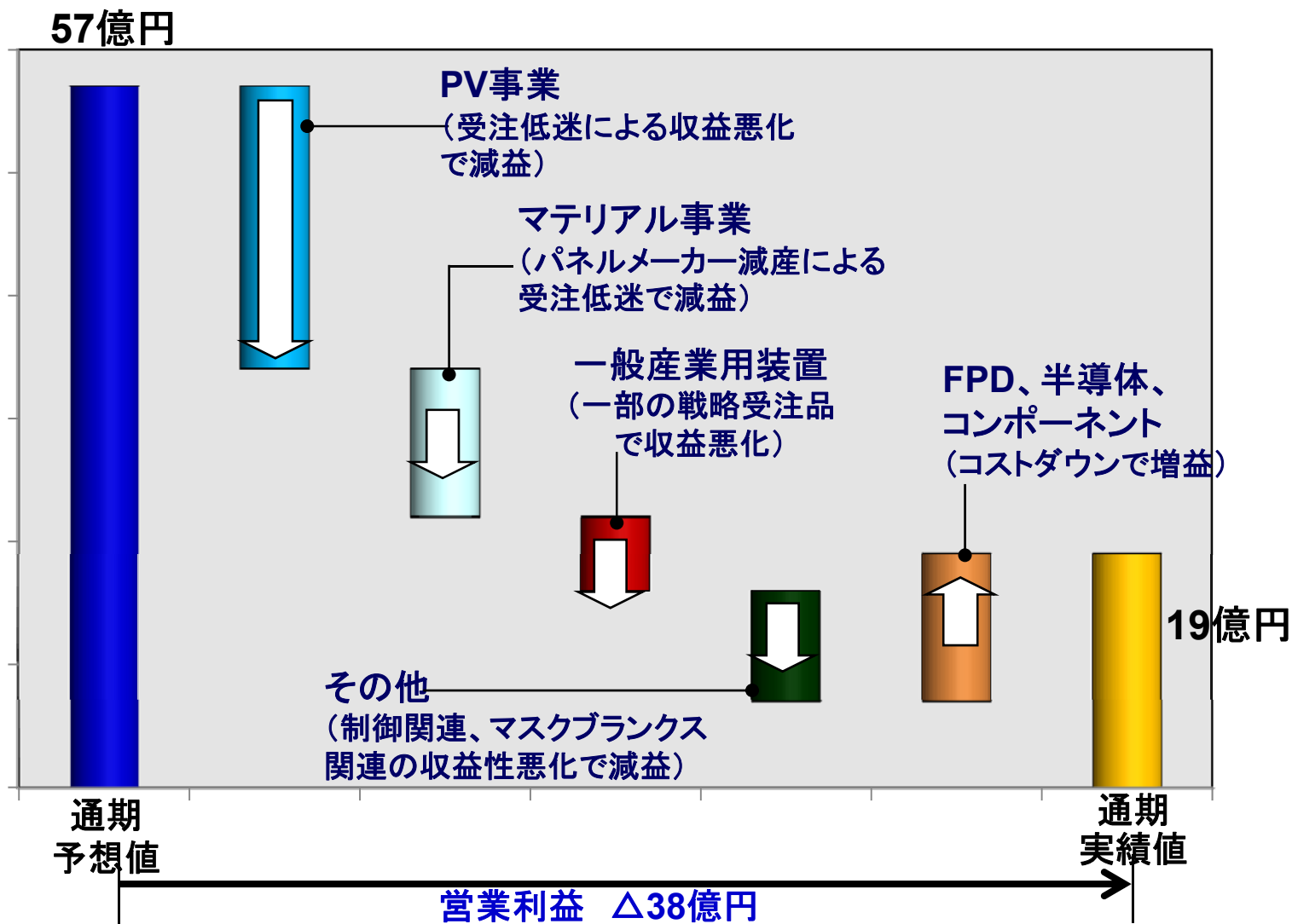
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

【単位：億円】 品目別の差異(前期比、予想比)



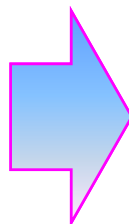
営業利益増減分析(予想値と実績の差異)

【単位:億円】 営業利益予想(2月10日開示)に対する実績との差異分析



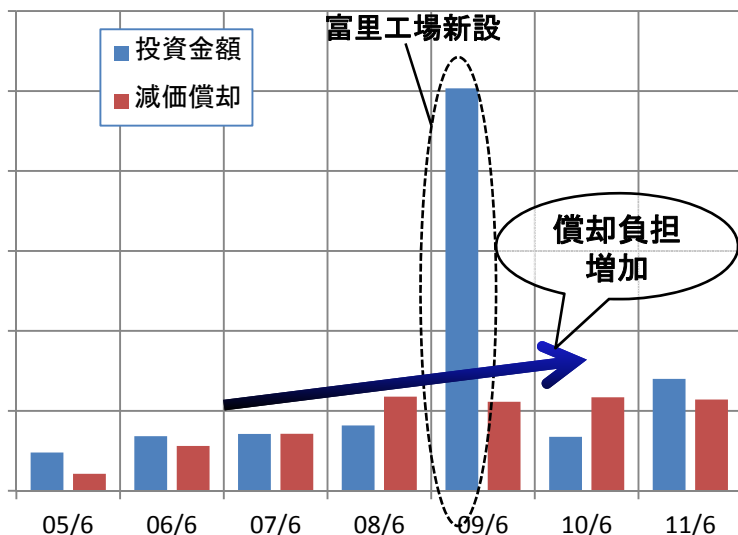
減損損失(マテリアル事業の経緯)

事業規模拡大時	
市場環境	顧客ニーズ高く、競合は日本メーカーで少数
戦略	設備増強により市場シェア獲得による利益確保
収支	5年後に600億円 営業利益10%を目標
為替	1ドル=90~100円

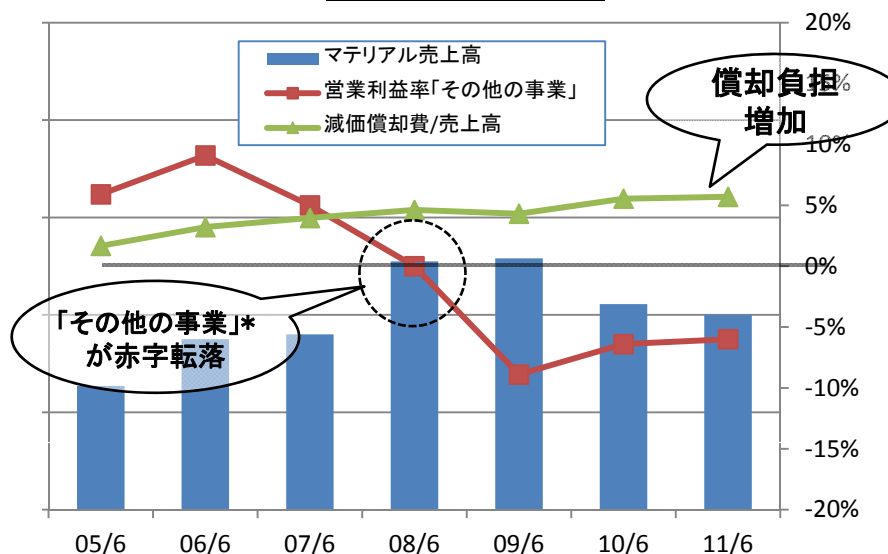


現状	
市場環境	多くの競合が参入(特に台湾、韓国メーカー)による価格競争が激化
戦略	<ul style="list-style-type: none"> 客先既存ラインでのシェア拡大による利益確保は困難に 客先新設ラインでのシェア獲得に重点を 収益性による商品の絞り込みが必要
収支	2011/6期業績 売上高 197億円 4期連続営業赤字
為替	1ドル=80円台で推移

設備投資と減価償却費の推移
(マテリアル事業)



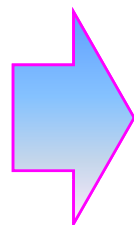
売上高と減価償却費率の推移
(マテリアル事業)



*「その他の事業」は2010年6月期に「真空応用事業」に変更いたしました。

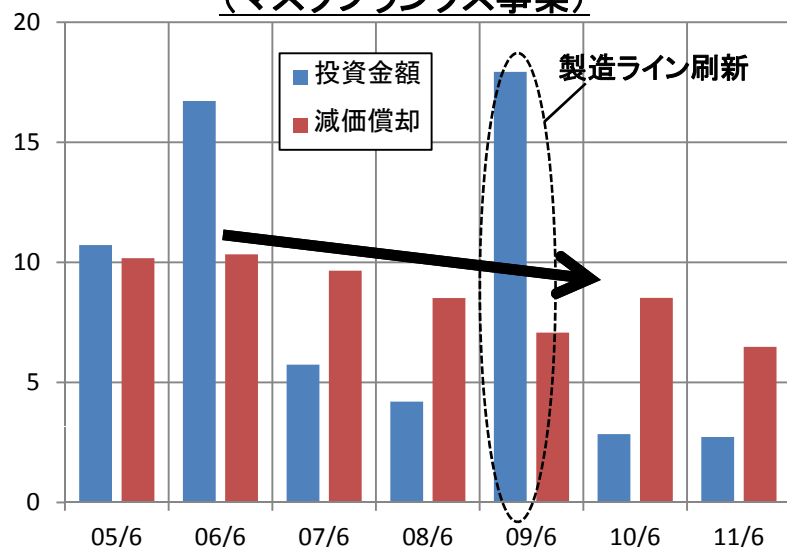
減損損失(マスクブランク事業の経緯)

事業規模拡大時	
市場環境	<ul style="list-style-type: none"> 汎用半導体マスクブランクスの過当競争 (日、米、韓) 液晶マスクブランクスの大型化・需要増
戦略	設備増強により <ul style="list-style-type: none"> 半導体は高品質化・量産対応 液晶は大型化・増産対応 総合マスクブランクスメーカーとして体制を構築。シェア拡大。
収支	5年後に売上高180億円 営業利益率15%を目標

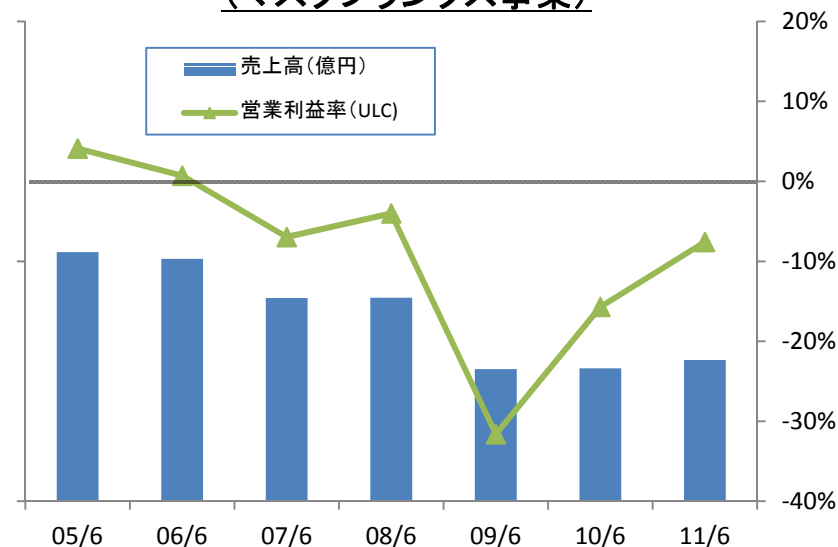


現状	
市場環境	金融危機後の半導体、液晶関連の生産調整で需要が大幅に低迷
戦略	<ul style="list-style-type: none"> 売上減や経済変動でも利益が確保できる体質へ転換 生産集約、人員合理化による大幅なコスト削減
収支	2011/6期業績 売上高 05/6期比で40%減 営業利益 ▲4億円

設備投資と減価償却費の推移
(マスクブランク事業)



売上高と営業利益率の推移
(マスクブランク事業)

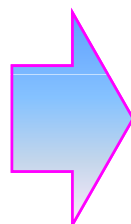


*「その他の事業」は2010年6月期に「真空応用事業」に変更いたしました。

事業再構築の状況

■ 不採算事業の撤退、ライン集約化

今後の成長を実現するため、事業の再構築を実施



▶マテリアル事業		
◆減損処理	固定資産の減損損失処理 (マテリアル事業の資産のうち約50%)	46.1億円
◆人員削減	2011年末までに約160名削減及び配置転換 (マテリアル事業の人員比20%減)	
◆成長の見込めない不採算商品からの撤退		
▶アルバック成膜		
◆減損処理	固定資産の減損損失処理 (マスクブランク事業の資産のうち約20%)	11.7億円
◆人員削減	約82名 (リストラ費用) (マスクブランク事業の人員比35%減)	3.2億円
◆ラインの集約、台湾(台南)子会社への生産シフト		

■ リストラ効果(2012/6期より)

- ◆ 人件費削減
(マテリアル、アルバック成膜他)
- ◆ 減価償却費削減

約13億円

約7億円

重点施策の進捗状況(2011/6期)(1)

重点施策	内容	状況
①再生可能エネルギー関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶太陽電池用装置の売上増(薄膜以外も注力) ▶太陽電池関連事業の幅を広げる ▶EV用急速充電器の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ■化合物(CIS)系、高効率結晶系を受注、薄膜シリコンの受注はタンデムへのアップグレードのみ ■EV用急速充電システムの販売好調
②マテリアル事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶国内外の設備投資、技術開発を積極的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国・蘇州のターゲット製造拠点の稼働開始 ■IGZOターゲット製造設備設置 ■不採算商品の撤退、人員削減
③生産体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ▶グローバルな視点からグループ全体の生産体制の見直し ▶最適な生産体制を構築、コストダウンを追求 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国・蘇州にFPD、PV用大型装置製造工場建設着工。併せて大型装置対応の加工センター、洗浄センターを設置(2011年12月完成予定) ■中国調達センターの設立 中国で調達活動を強力に推進 ■国内グループ会社の再編

重点施策の進捗状況(2011/6期)(2)

重点施策	内容	進捗状況
④グローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国事業 現地法人設立と拠点拡充の投資から、リターンを確実なものにするため中国各社の体制強化に注力 ▶ ポスト中国を模索 南米など新興国の市場開拓に注力 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大半の中国現地法人は黒字達成。特に、LED、電子部品、産業機器、コンポーネントなど過去最高益を達成 ■ ブラジル拠点を設置。東南アジア(マレーシア、タイ等)の拠点強化を図る ■ 韓国超材料研究所設立(7/1~)
⑤新規事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ▶ M&A、資本参加、アライアンス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オプトラン^{*1)}との業務提携・出資(2010年10月) ■ SABICイノベティブプラスチック Exatec^{*2)}と自動車用グレージングにPC樹脂の採用を加速するコーティング技術の量産化で技術提携

*1)オプトラン社:光学薄膜用成膜装置専門メーカーとして、光学薄膜用蒸着装置、光学薄膜用スパッタリング装置を東アジアで積極的に拡販、光学薄膜用蒸着装置で大きなシェアを有している。

*2)Exatec社:SABICイノベティブプラスチックの100%子会社。1998年設立。無機ガラス並みの性能を誇るプラズマコーティング技術の独占的な供給をはじめ、先進のPC樹脂グレージングシステムを実現する、業界で最も幅広い技術を提供。Exatecの最先端プラズマコーティングシステムは、業界最高の耐候性、耐久性、ガラス並みの耐傷つき性を実現。これらのプラズマコーティング技術は、コスト効率に優れ複雑な形状の部品の、ロスが少なく高い生産性での製造を実現している。

アジェンダ

業績概要及び予想



▶ 2012年6月期連結業績予想



代表取締役社長 諏訪秀則

2012/6期業績予想

受注高は、日本向けPV製造装置が前期比で増加し、FPD、半導体製造装置が減少の見込み。
 売上高は、期首受注残高が多いFPD製造装置、一般産業用装置が増加、一方、半導体製造装置が減少の見込み。利益は、FPD、半導体の収益性が悪化。一般産業用装置、材料、その他で黒字を予想。

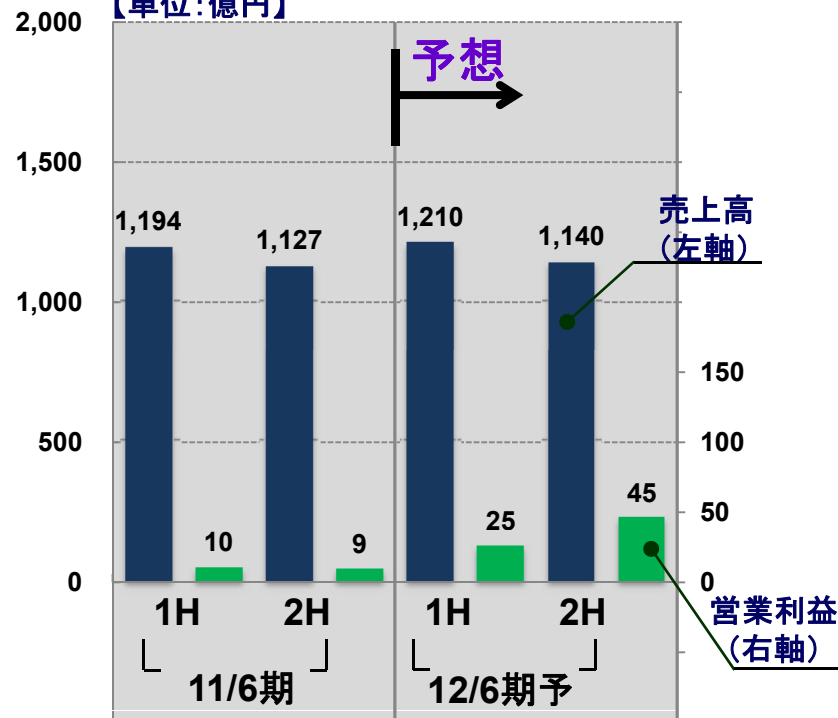
【単位：億円】

	11/6期 実績	12/6期予	
		2Q(累計)	通期
受注高	2,359 (+6%)	1,116 (+9%)	2,356 (-0%)
受注残高	1,109	1,015	1,115

売上高	2,320 (+5%)	1,210 (+1%)	2,350 (+1%)
営業利益	19 (-62%)	25 (+151%)	70 (+278%)
営業利益率	0.8%	2.1%	3.0%
経常利益	14 (-71%)	21 (+163%)	63 (+336%)
経常利益率	0.6%	1.8%	2.7%
当期純利益	-87	4	31

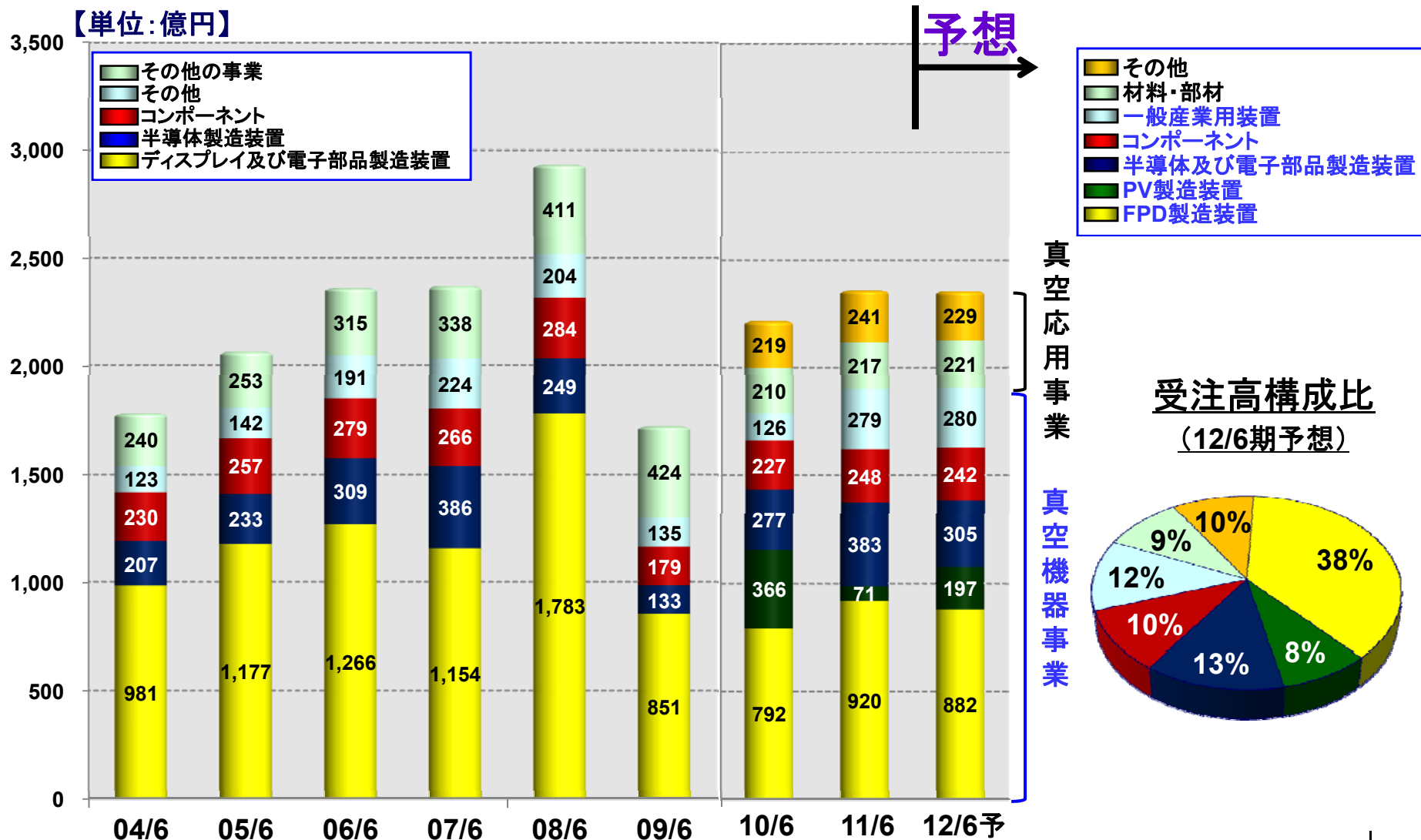
売上高と営業利益の推移(半期毎)

【単位：億円】



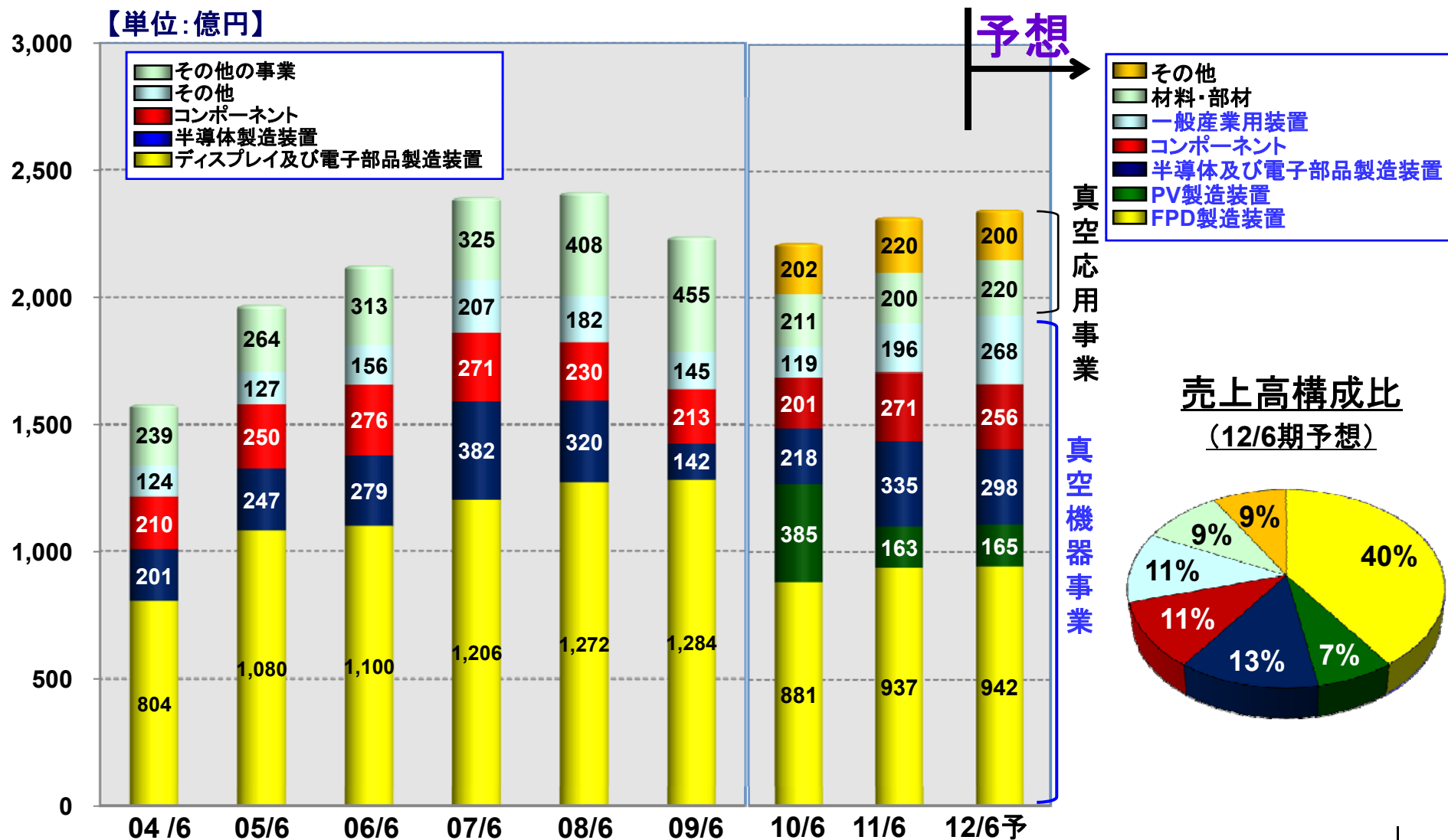
【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別受注高実績・予想



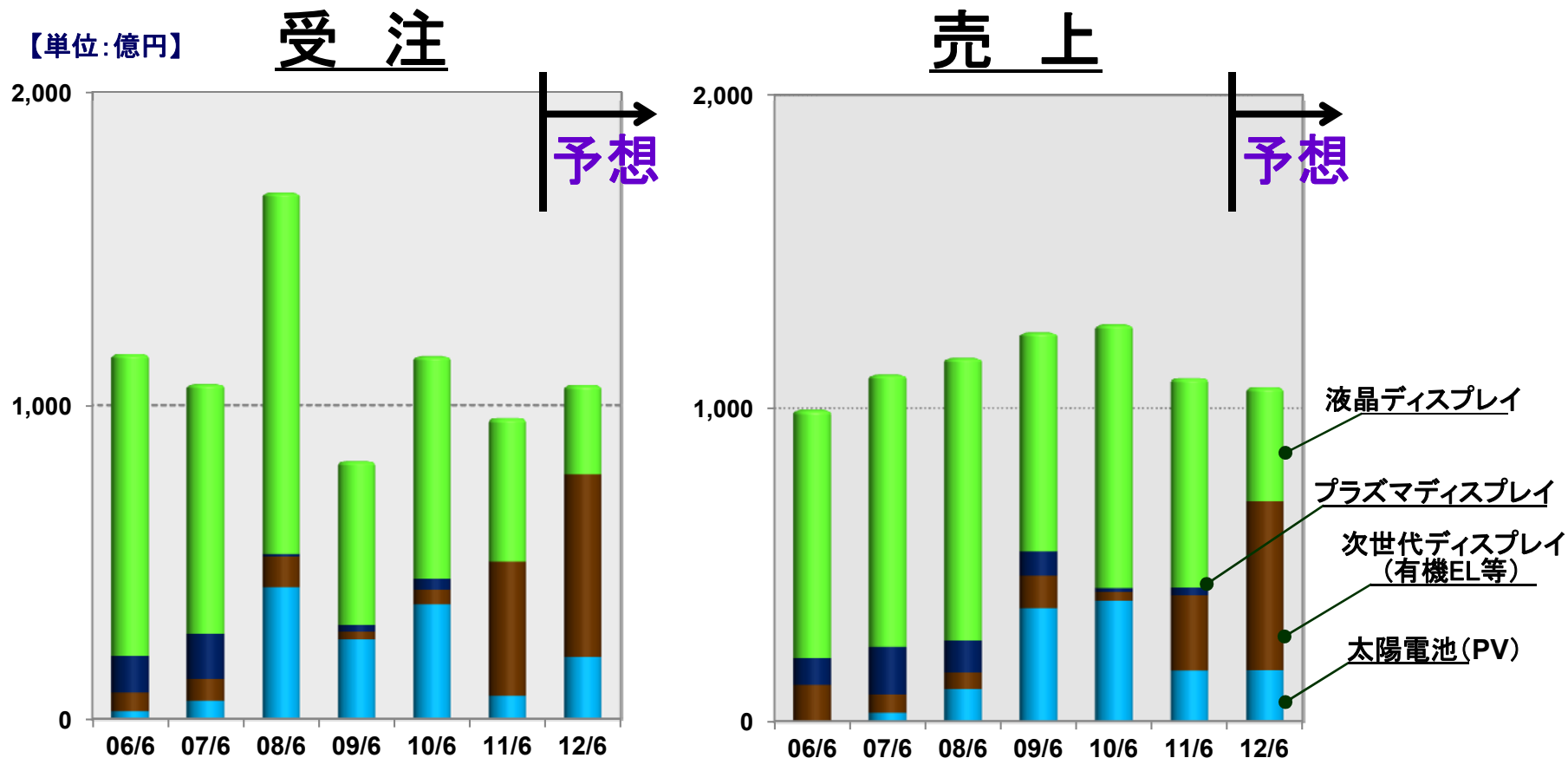
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

品目別売上高実績・予想



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

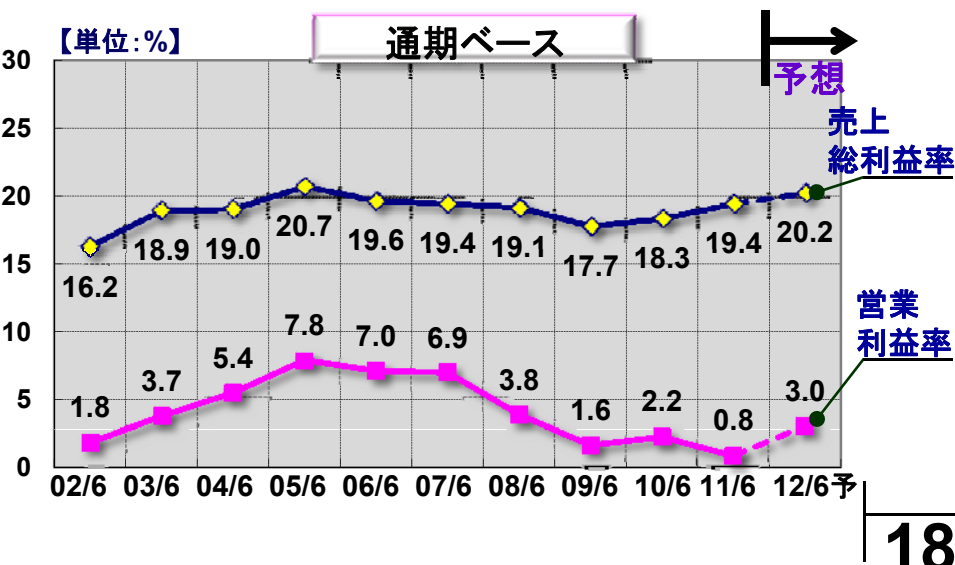
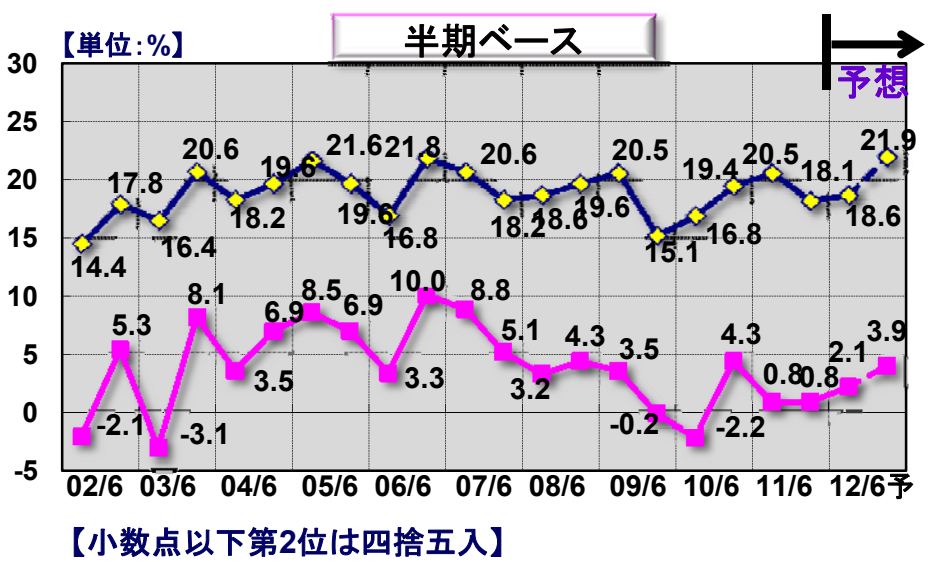
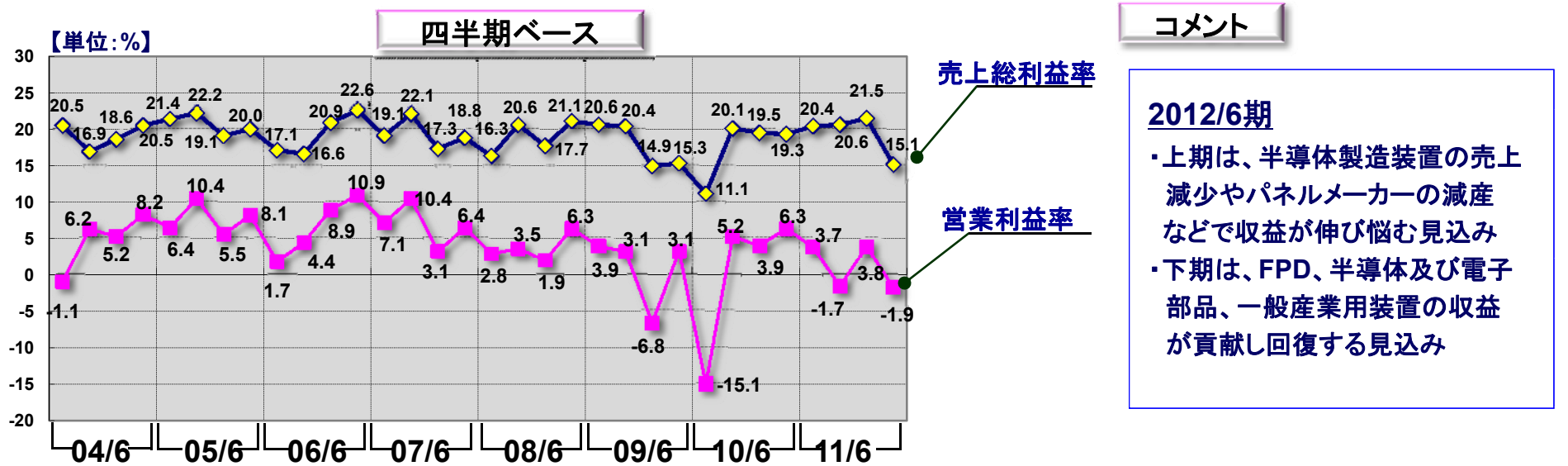
FPD製造装置・PV製造装置の推移・予想



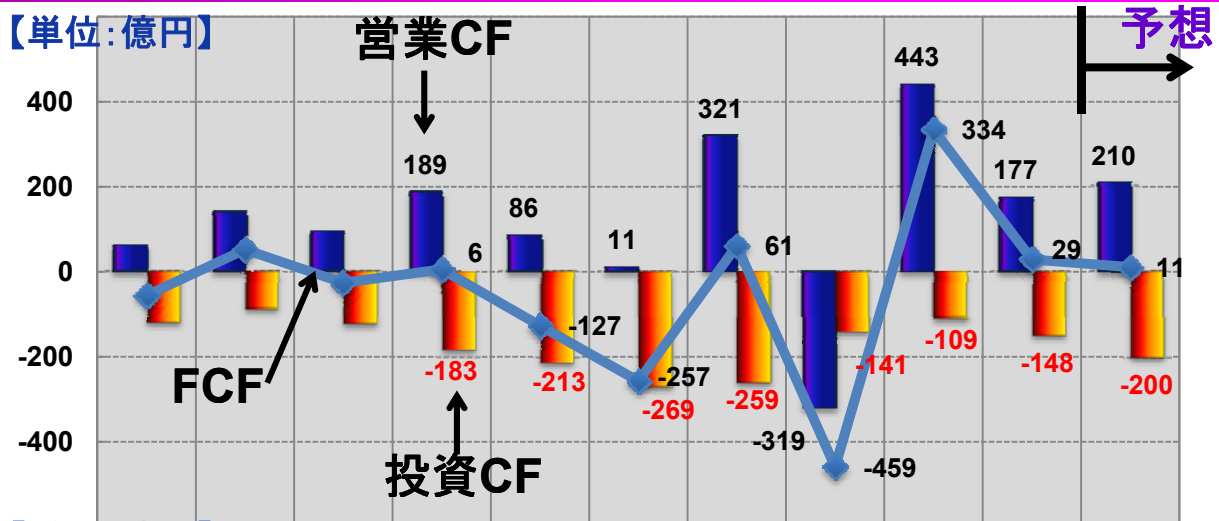
足元の受注環境

- ◆大型液晶ディスプレイは、全般的に投資意欲が減退。
- ◆中小型液晶のLTPS(低温ポリシリコン)や有機ELの引合い、受注が好調。有機EL照明の引合いが増加。
- ◆太陽電池は、薄膜が低調。高効率結晶系、化合物系(CISなど)の引合い増加。

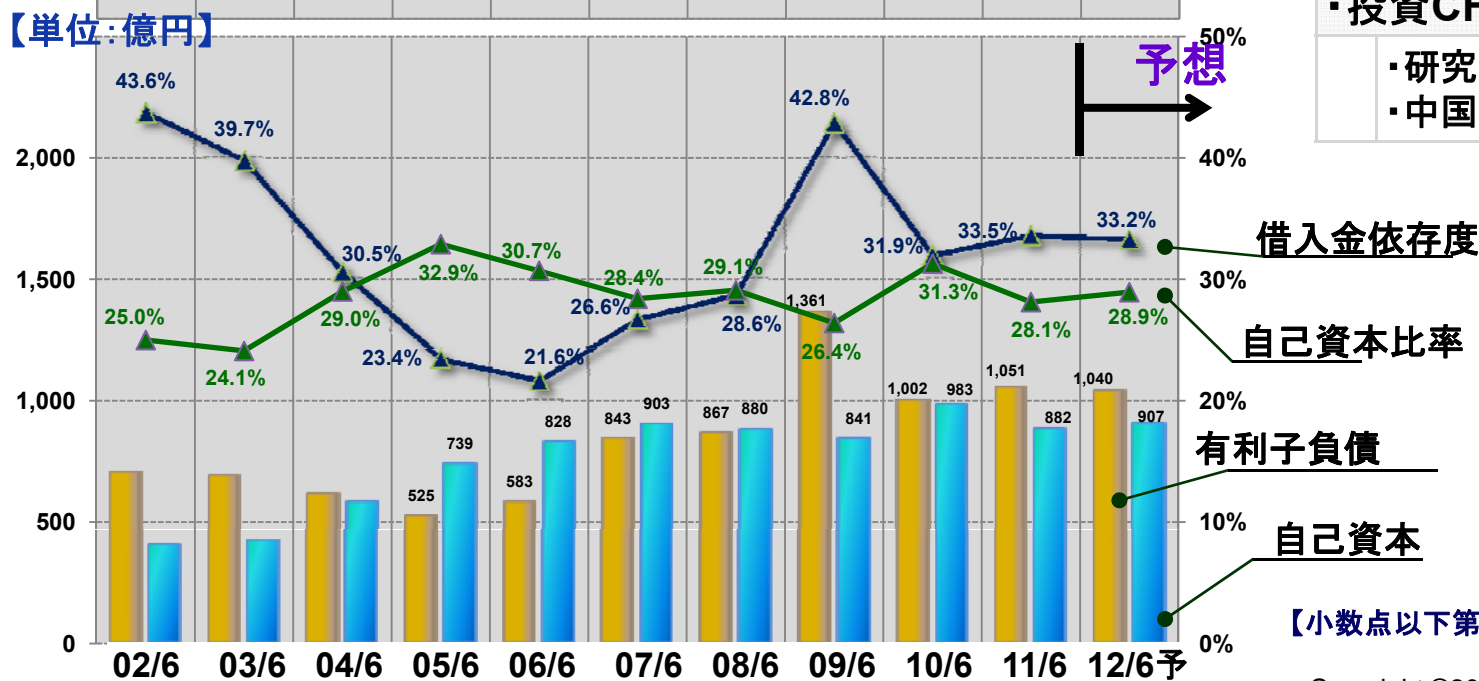
利益率の推移・予想



キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想



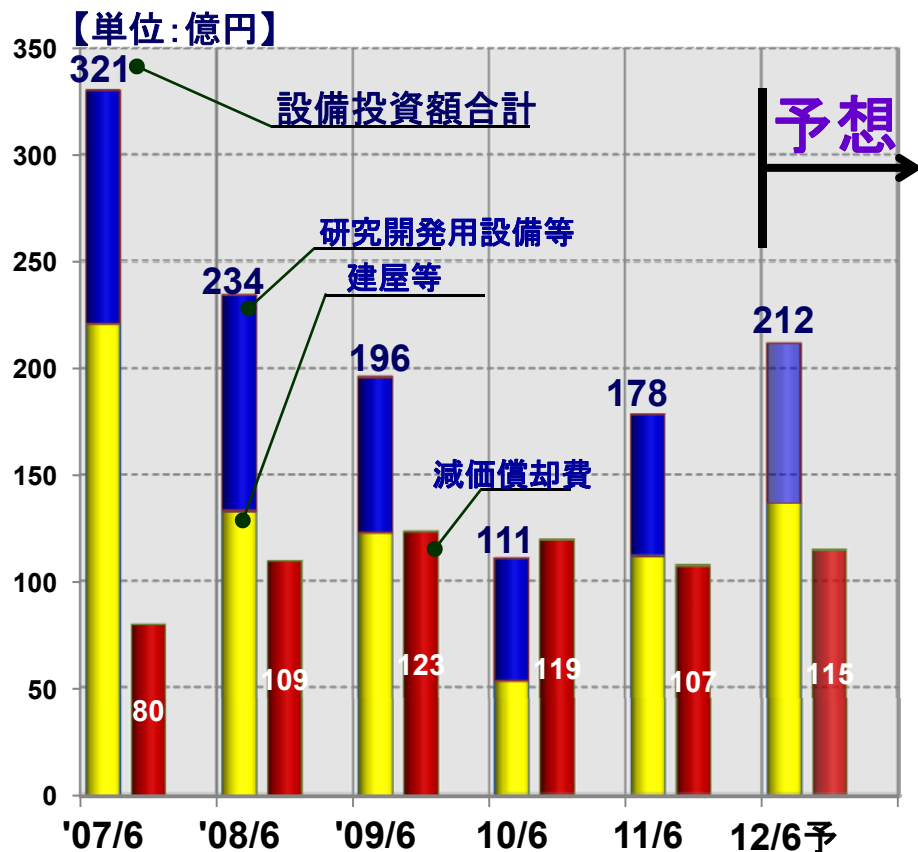
■2011/6期(実績)
FCF 2年連続黒字達成
■2012/6期(予想)
・FCF
・3期連続黒字
・営業CF : 210億円
・CCC短縮
・投資CF : 200億円
・研究開発投資の実施
・中国での成長投資の実施



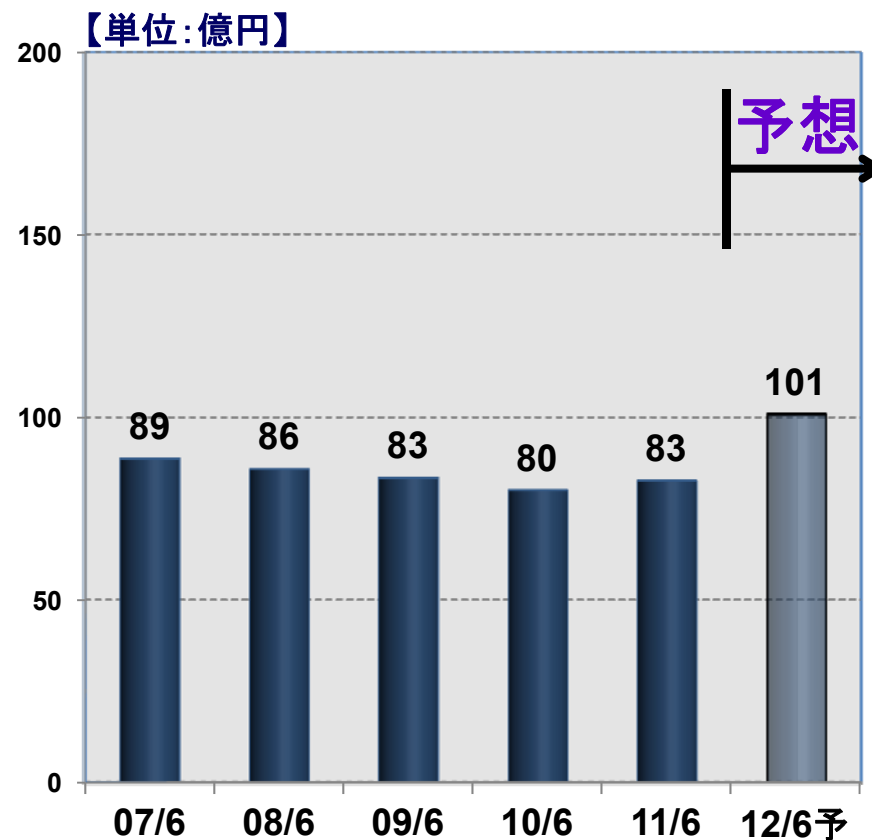
【小数点以下第2位は四捨五入】

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移・予想

設備投資及び減価償却費の推移・予想



研究開発費の推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

アジェンダ

業績概要及び予想



▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

今後の事業環境

■ 今後の事業環境

日本市場が縮小、アジアへシフト。震災でより鮮明に。
円高の進行。アジア、欧州の競合先との価格競争が激化。

■ アルバックの対応(引き続き)

「既存事業依存からの大胆な脱却(脱装置・脱真空)」

「更なるグローバル化(市場開拓、コストダウン)」

■ 中長期の重点項目

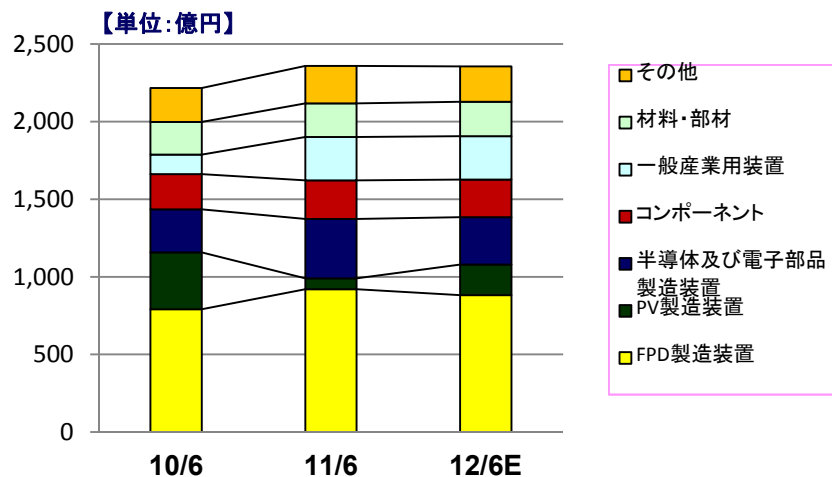
- ①再生可能エネルギー関連
(PV, EV)
- ②マテリアルビジネス、委託加工
- ③ターンキーソリューション
- ④中国での成長
- ⑤事業再構築
- ⑥生産体制、生産拠点の
大胆な見直し

12/6期の重点

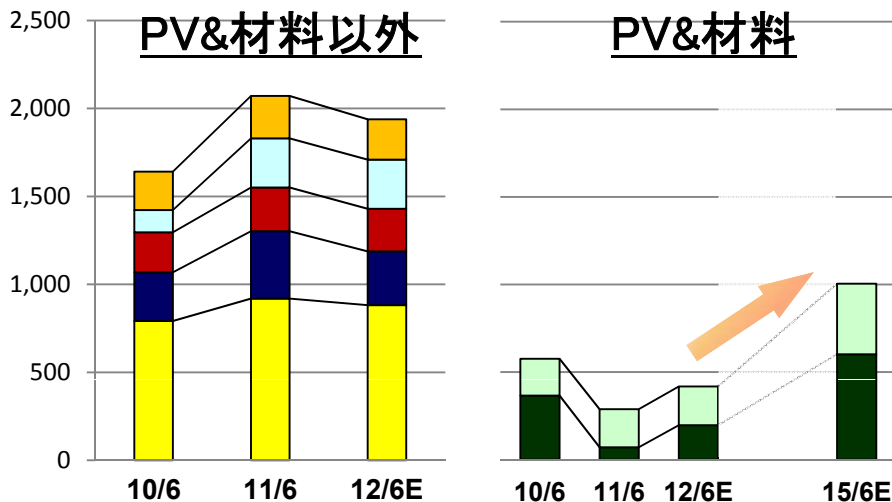
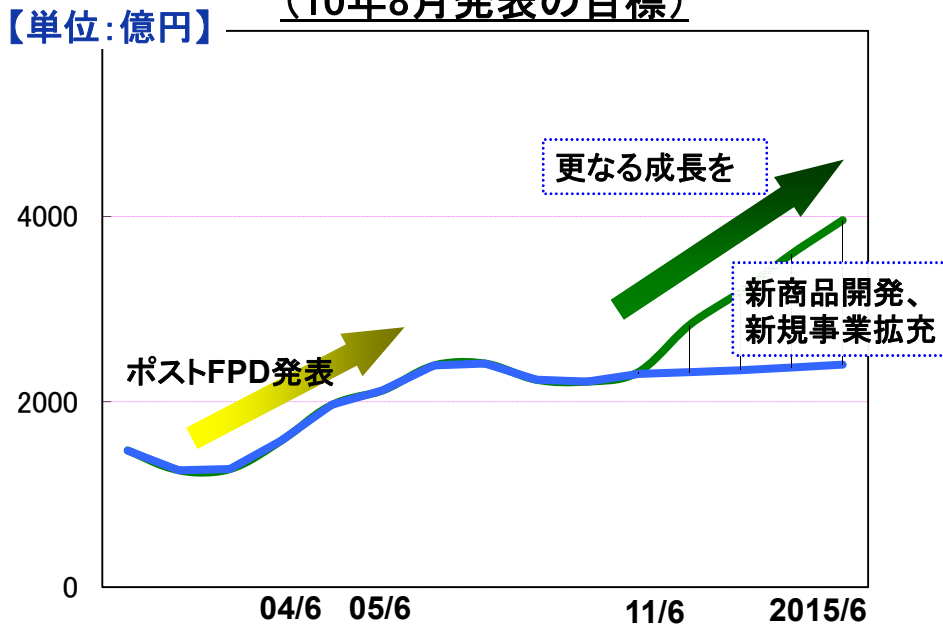
- ◆PV、マテリアルビジネスの
リバイバル(再興)
- ◆「単純化、共通化、標準化、
差別化」による収益性向上
- ◆グローバル化

PV&材料のリバイバル

受注高の推移(品目別)



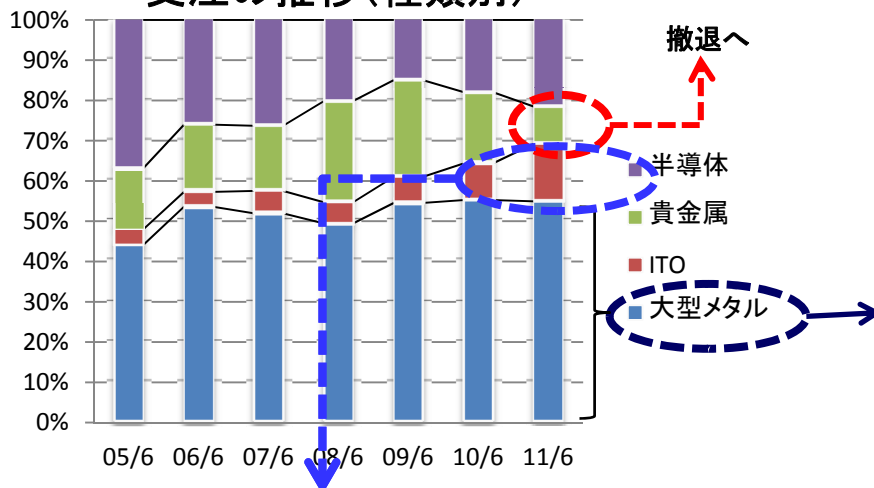
売上高のイメージ (10年8月発表の目標)



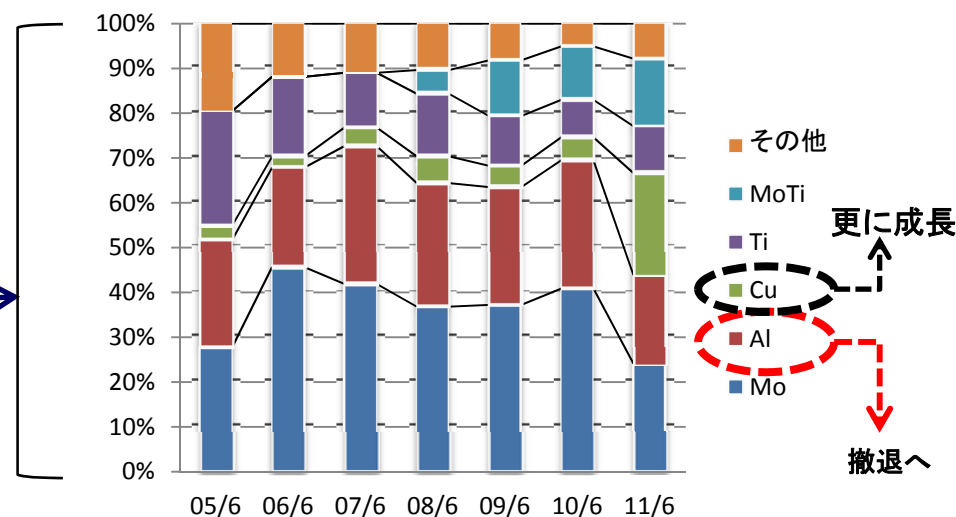
**PV & 材料が今後の大きな柱
⇒リバイバル(再興)が必須**

スパッタリングターゲットの受注の推移

受注の推移(種類別)

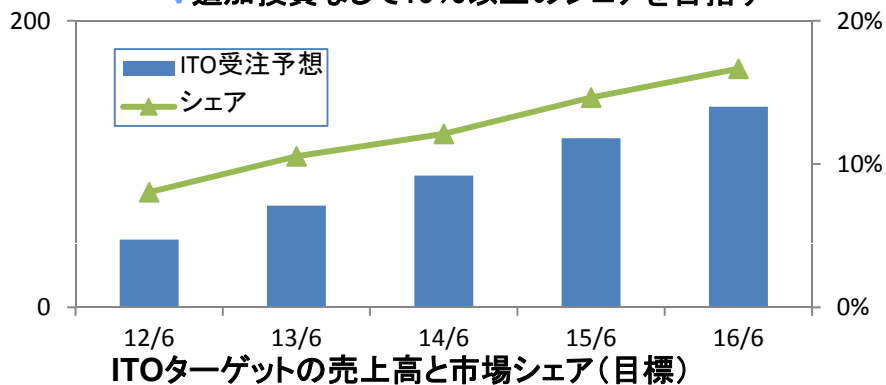


大型メタルの内訳

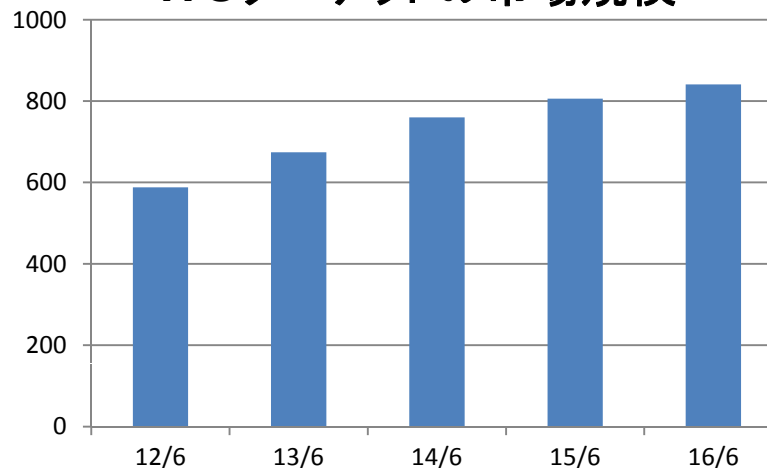


ITO 今後の成長性

- ◆ 成長ドライバ:
 - ⊕ 2社購買の普及に伴う新規参入機会の増加
 - ⊕ リサイクル比率向上により業界最低レベルのリサイクル・コスト達成の見込み
- ◆ 追加投資なしで15%以上のシェアを目指す



ITOターゲットの市場規模

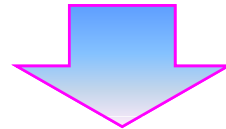


(出所: 当社推定)

Copyright ©2011, ULVAC, Inc. All rights reserved

ROIC向上を意識した経営

- 2010年8月にROICの向上に取り組むと発表して以来、資産効率と収益力向上の観点から、各事業について再評価を実施。
- その結果、マテリアル事業及びマスクブランクス事業については、外部環境の変化を鑑みた場合、設備投資費用及びその他の固定費が高すぎると判断。最終的に固定資産の圧縮及び人件費の削減、事業の縮小を決断し、結果として残念ながら大幅な特損を計上した。



- ▶当社として史上初めてのリストラを断行することにより、今後、収益性を大幅に改善し、長期目標である営業利益率10%を目指すもの

ROIC向上を
意識した
経営へ

2000～
規模拡大と利益重視

2010～
ROIC向上を意識した経営
(資産効率と収益性の向上に注力)

- ・FPD製造装置で売上拡大
- ・シェア確保
- ・成長分野・地域への投資
- ・ポストFPD戦略のための投資

- ・カスタムメイドからの脱却
- ・ターンキーソリューション
- ・生産のグローバル化
- ・ポストFPD分野での拡大

- ・CCCの短縮
- ・資産効率の向上
- ・「脱装置・脱真空」ビジネスへの展開
- ・単純化、共通化、標準化、差別化で収益力向上
- ・更なるグローバル化

不採算事業の再構築

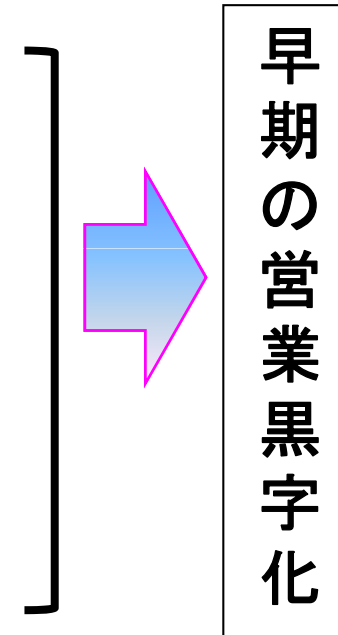
■ 今後の事業展開

▶ マテリアル事業

- ◆ 競争力があり収益の確保できる材料を重点的に販売
- ◆ 生産効率の向上、リードタイム短縮(1/2目標)、内製化比率の向上
- ◆ ITOのリサイクル率の向上
- ◆ IGZO等酸化物ターゲットの一体型大型ターゲットで差別化を図る
- ◆ 中国での現地調達・リサイクルを徹底しコスト競争力をつける
- ◆ リフラクトリーメタル応用事業に注力

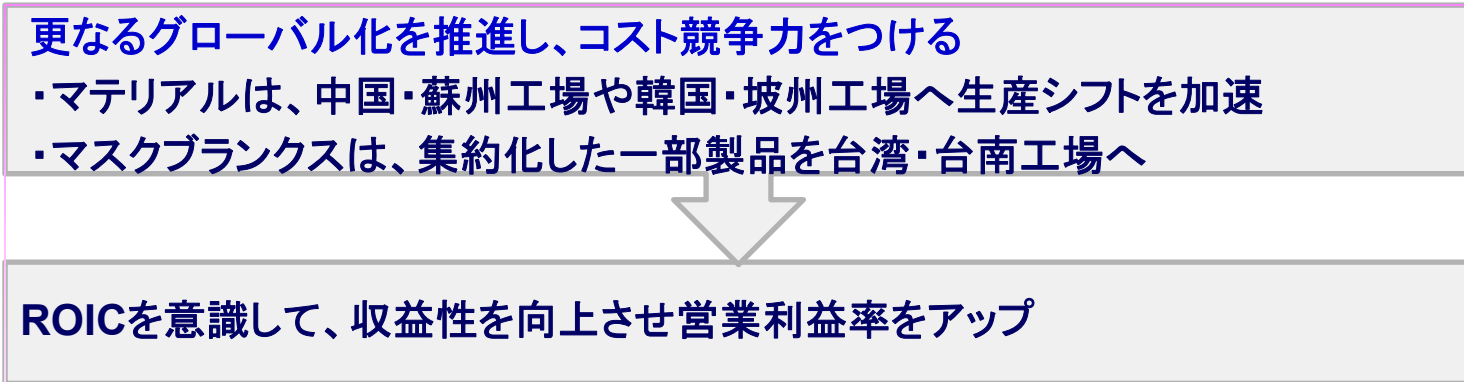
▶ マスクブランク事業

- ◆ 大型マスクなど売上げが期待できる新製品の拡販
- ◆ グローバルサプライチェーンの更なる体制強化



早期の営業黒字化

■ 中長期の展開



■ 長期目標

:売上高 4,000億円、営業利益 10%を目標

■ 長期目標達成の為に

1.PV、マテリアルが今後の事業の大きな柱
⇒PV、マテリアルの再興に注力

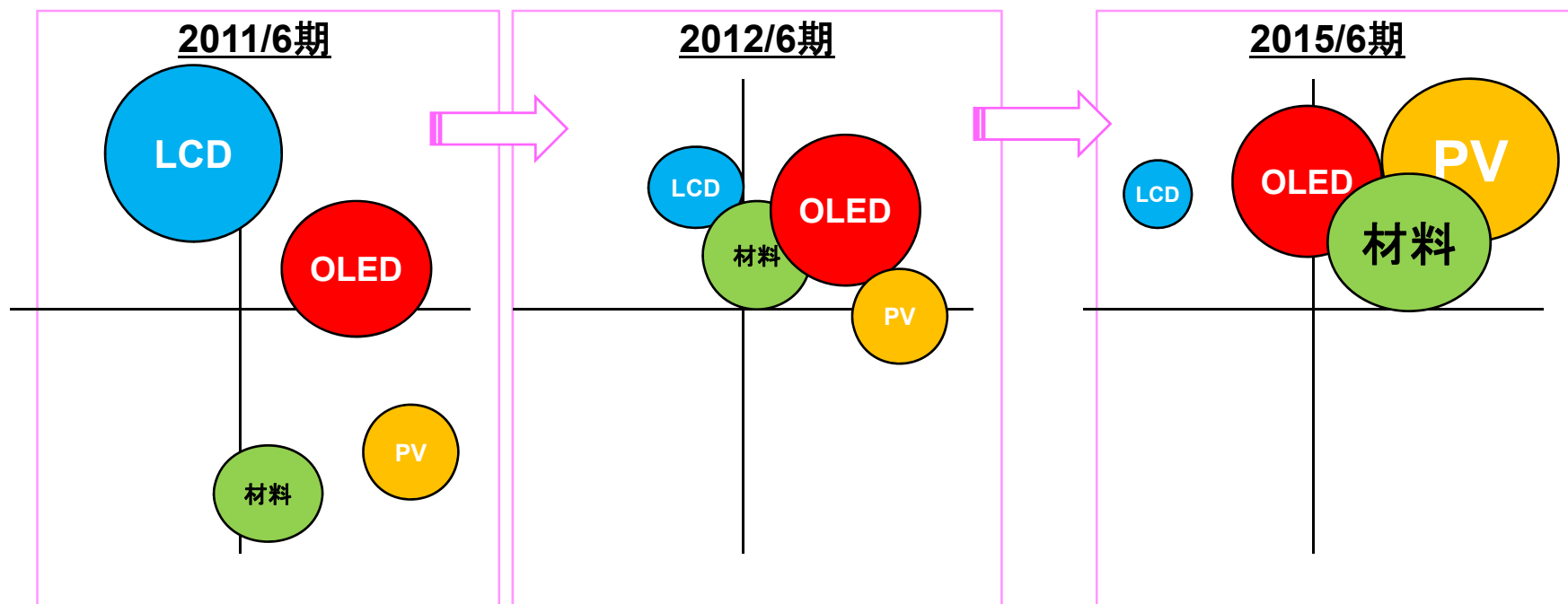
2.ROICを意識して資産効率と収益力向上

⇒不採算事業(マテリアル、成膜)のリストラ、
早期の黒字化で収益力向上

⇒単純化、共通化、標準化、差別化による収益性改善

- ・単純化→部品点数低減
- ・共通化→調達量増大
- ・標準化→提案型による非カスタム化
- ・差別化→価格競争回避

■ FPD、PV、マテリアル事業の将来イメージ



真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

会社概要

■ 事業内容

▶ 真空機器事業

- ・FPD製造装置 : FPD(液晶、有機EL、PDP等)製造装置
- ・PV製造装置 : 太陽電池(薄膜系、結晶系、化合物系等)製造装置
- ・半導体及び電子部品製造装置 : メモリー、LED(化合物半導体)、電子部品等の製造装置
- ・コンポーネント : 真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器
- ・一般産業用装置 : 真空熱処理炉など一般産業機器製造装置

▶ 真空応用事業

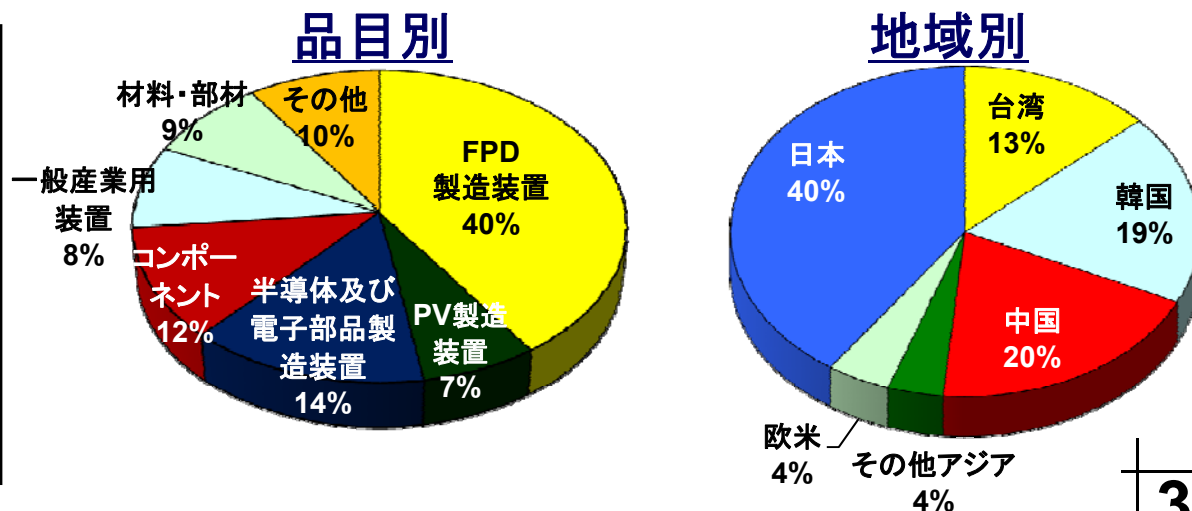
- ・材料・部材 : スパッターターゲット材、先端材料等
- ・その他 : 表面解析装置、分析装置、制御システム、委託成膜等

■ 11/6期実績(連結)

【単位:億円】

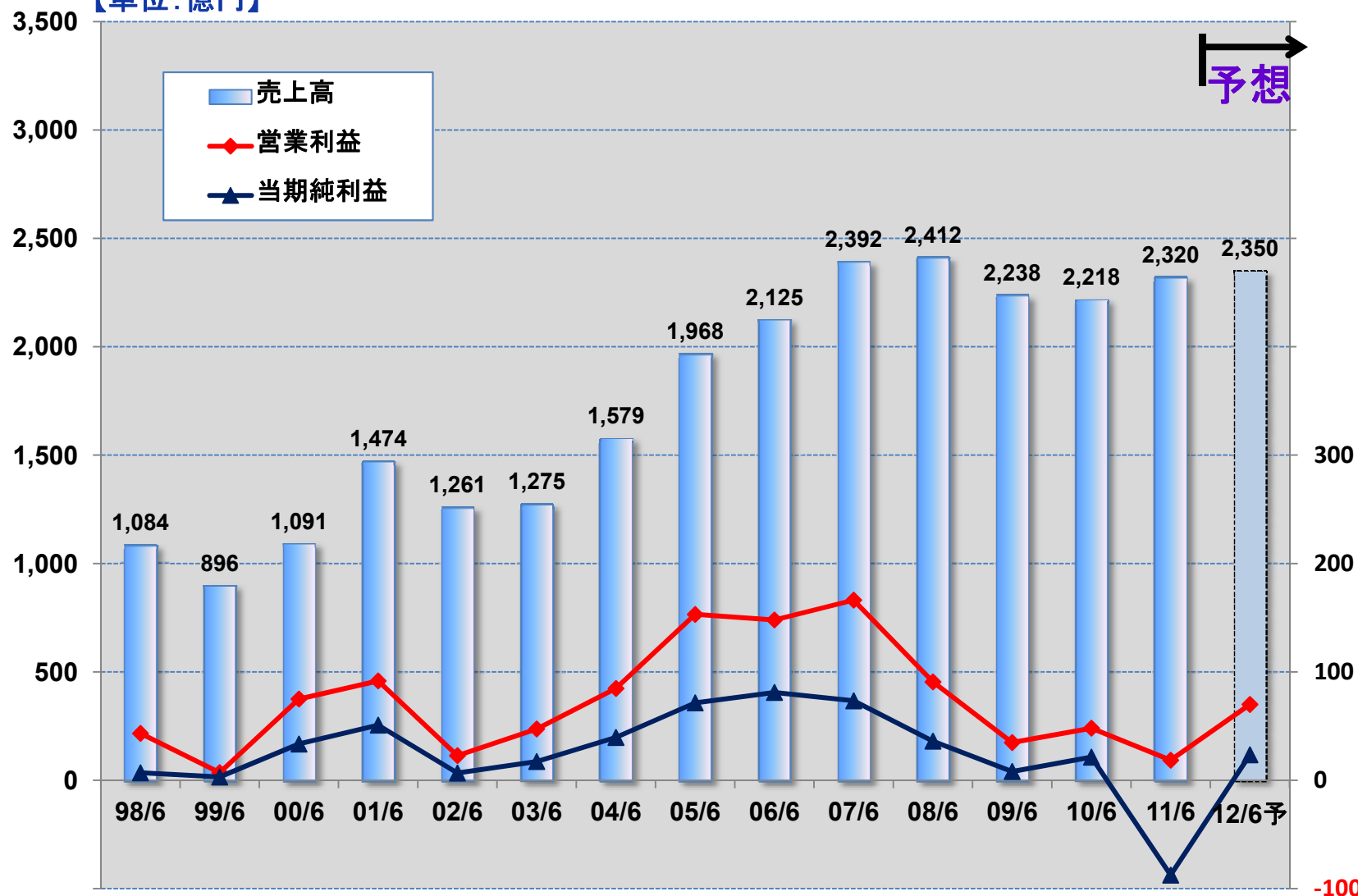
売上高	2,320
営業利益	19
当期純利益	▲87
純資産合計	920
従業員	7,878名

■ 売上高構成比(連結)



売上高と利益の推移・予想

【単位：億円】



【小数点以下第2位は四捨五入】

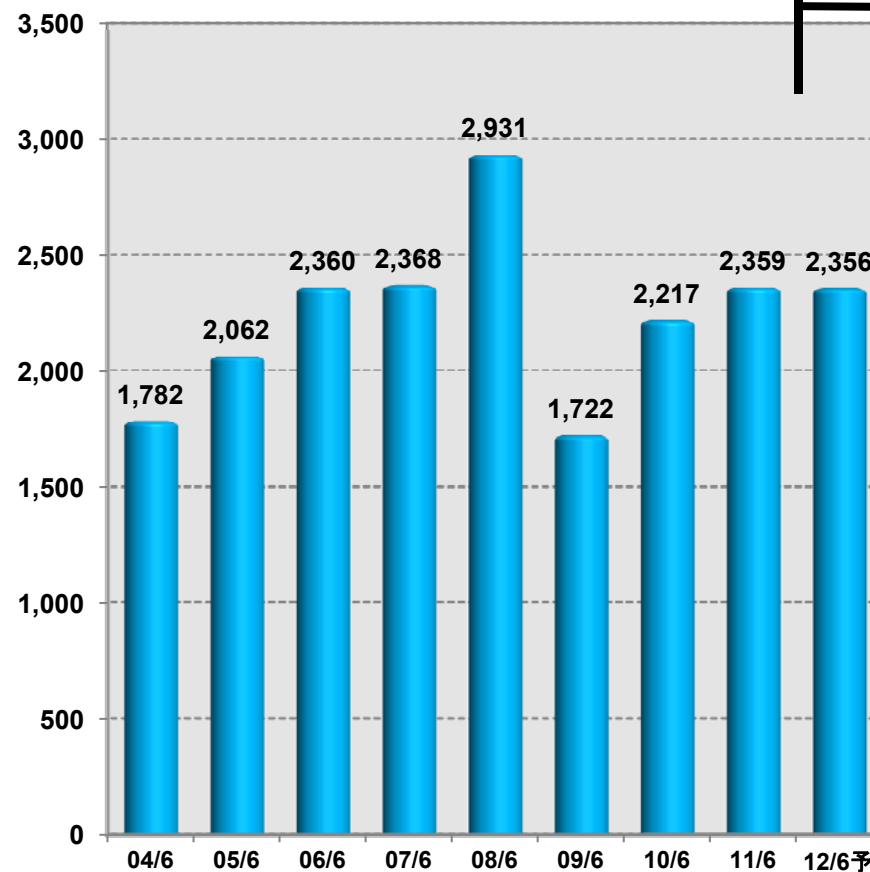
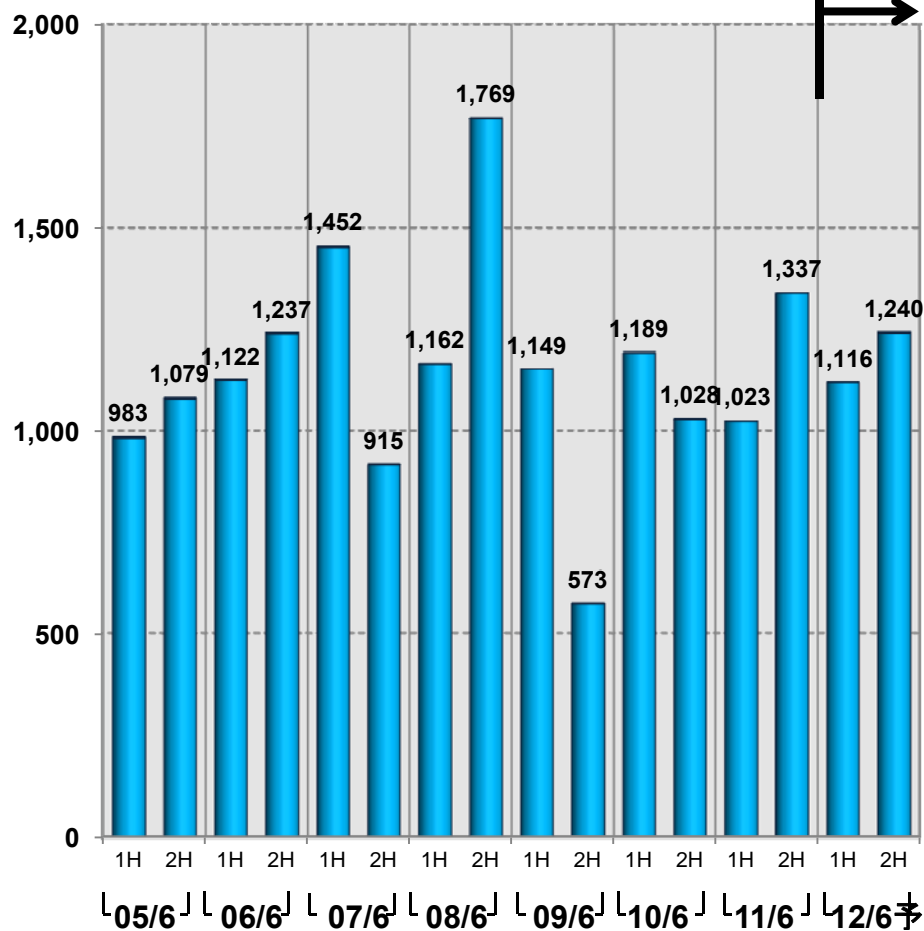
-100

受注高推移・予想

【単位：億円】

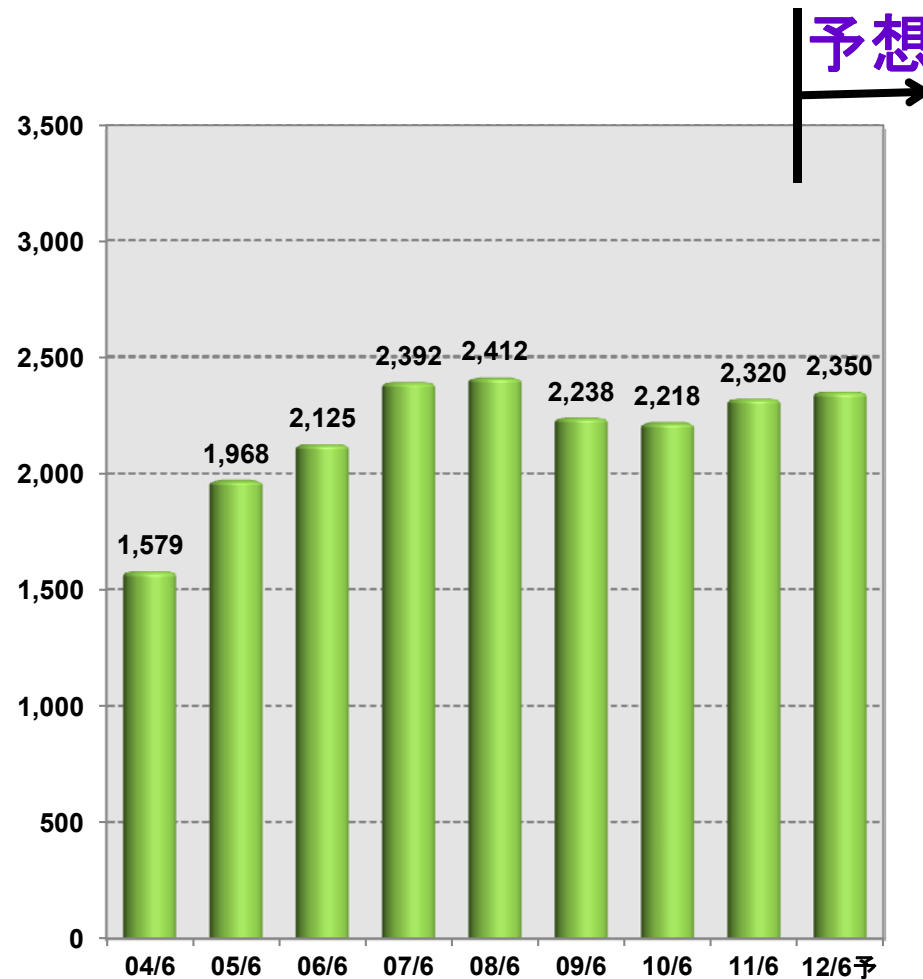
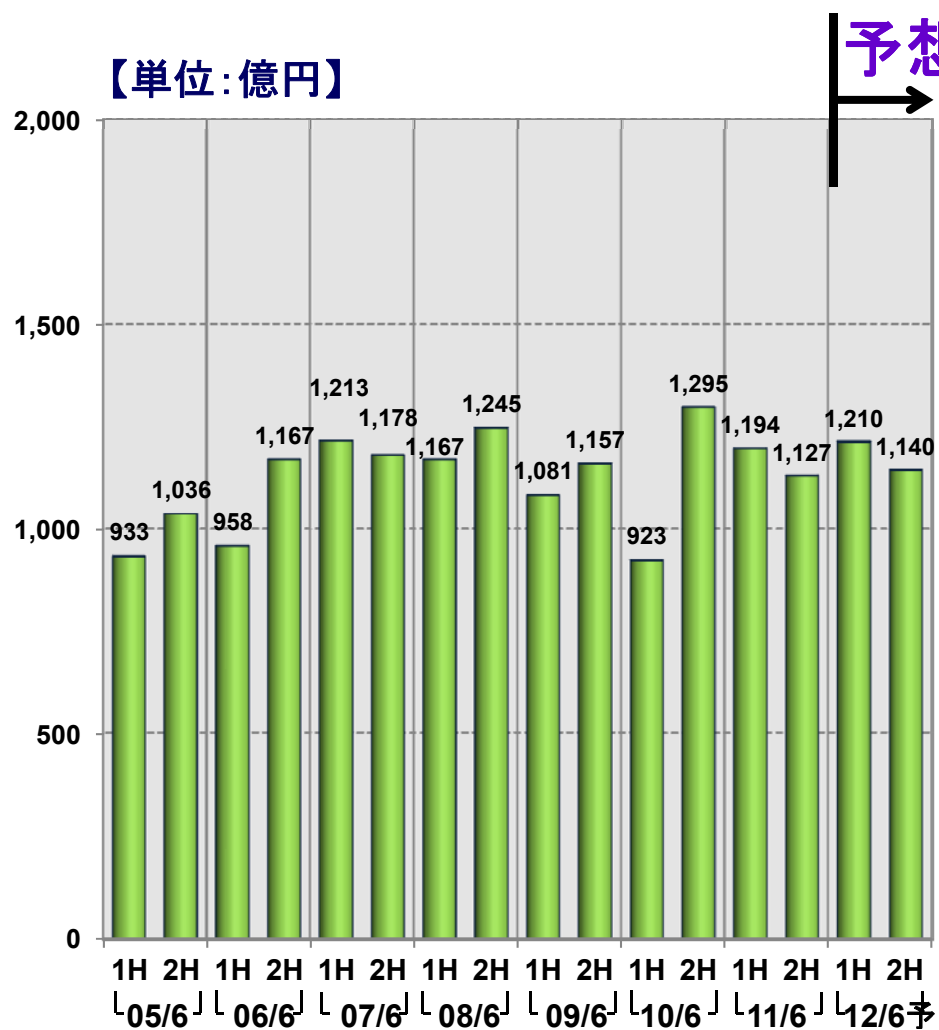
予想

予想



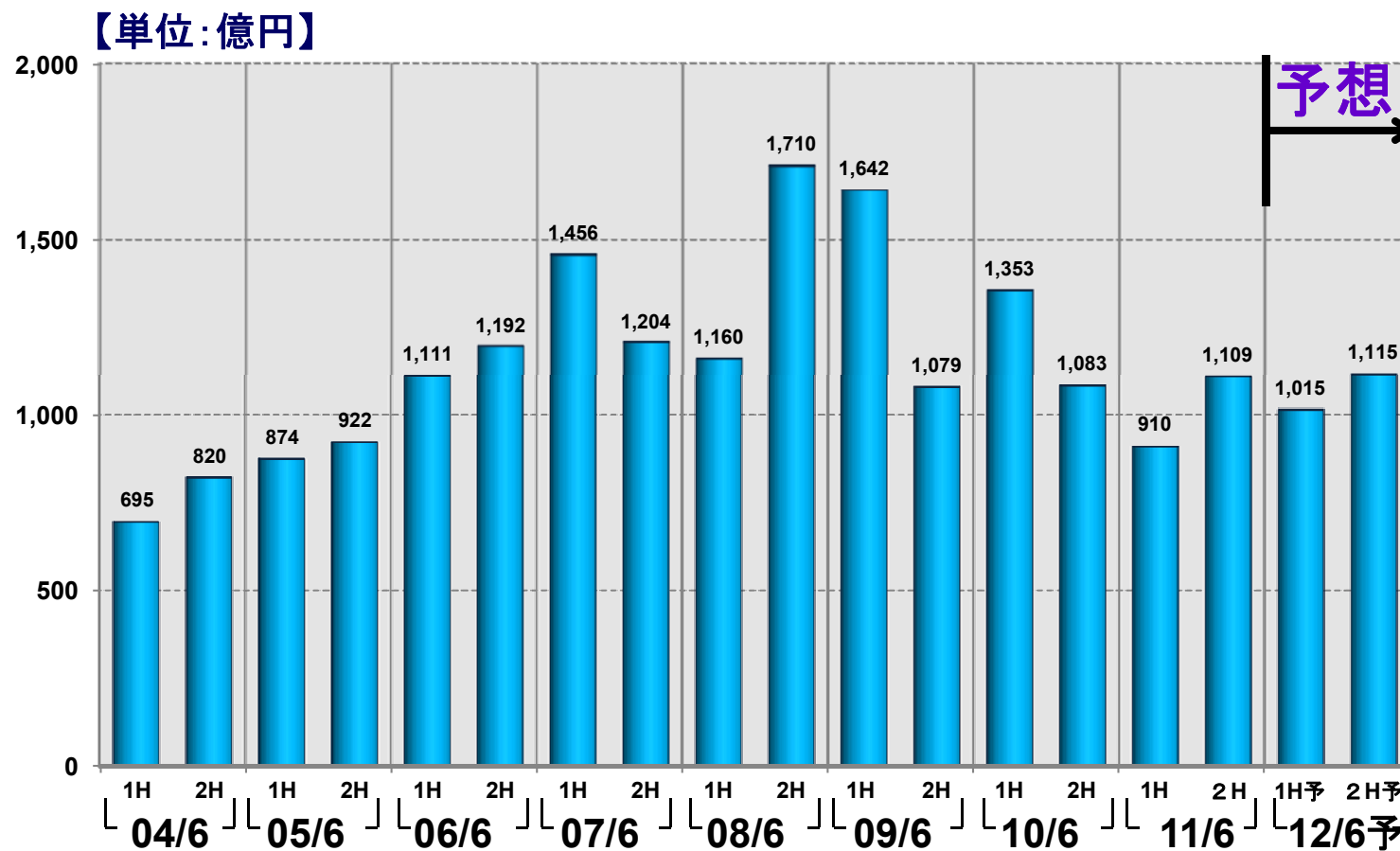
【小数点以下は四捨五入】

売上高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

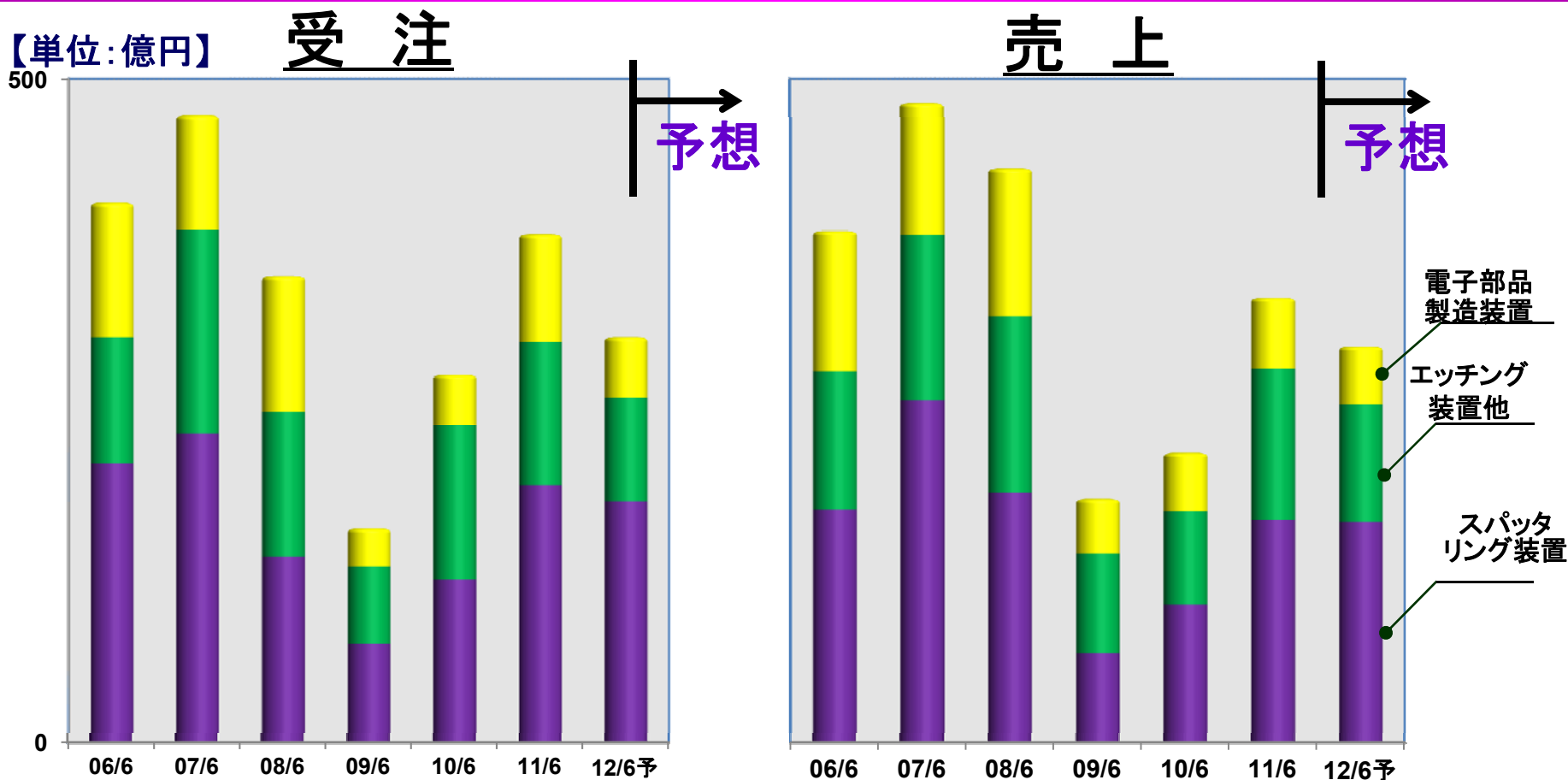
受注残高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

半導体及び電子部品製造装置の推移・予想

添付資料

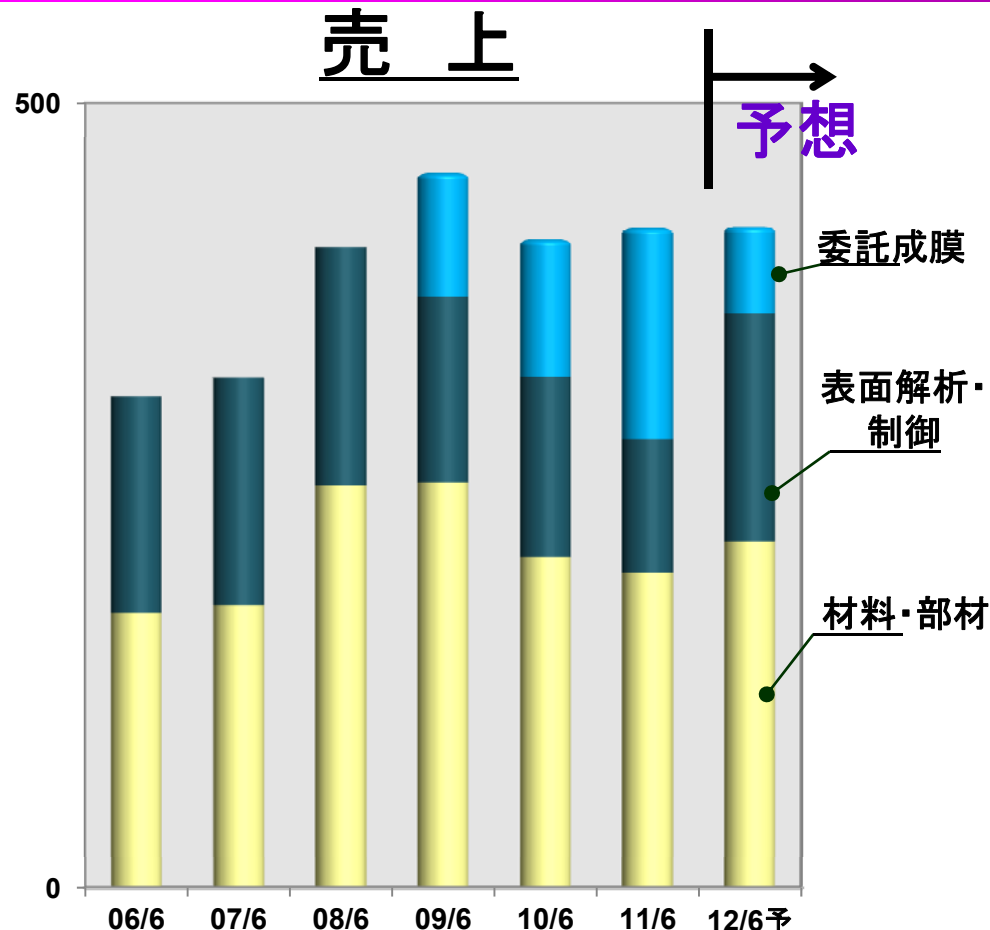
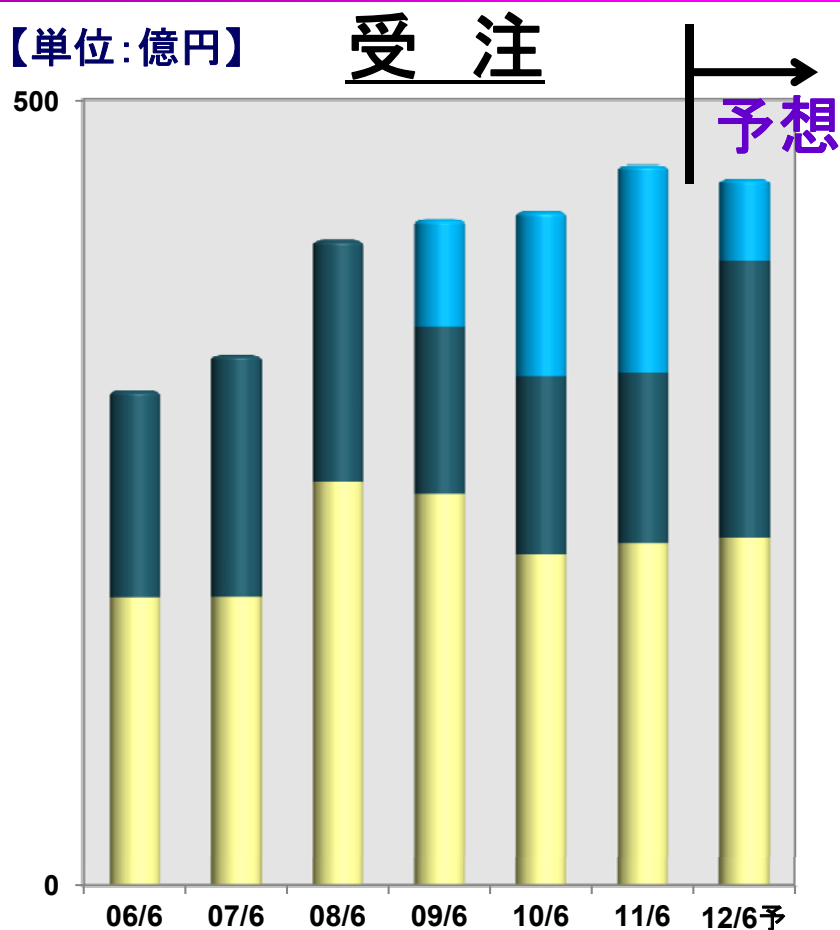


足元の受注環境

- ◆DRAM、フラッシュメモリは投資減速で減少。
- ◆日本、中国でパワー半導体投資が活発。引き合い増加。
- ◆LED関連は日本、台湾、中国の受注、引き合いが堅調。

真空応用事業(その他の事業)の推移・予想

添付資料



足元の受注環境

- ◆ FPD業界向けでIGZO(透明酸化物半導体)ターゲットなど新規材料ビジネスの引き合い強まる。
- ◆ 制御システム関連は自動車業界の回復で引き合い・受注増の見込み

連結貸借対照表(資産の部)

【単位:億円】

	10/6期	11/6期	増 減
流動資産	1,992	2,010	18
固定資産	1,146	1,126	△ 20
有形固定資産	896	871	△ 25
無形固定資産	44	55	11
投資その他の資産	206	200	△ 6
資産合計	3,138	3,136	△ 2

資産の部: 1億67百万円減

- ◆流動資産: 18億5百万円増
 - ◆現金及び預金 : 49億32百万円増加
 - ◆たな卸資産 : 36億13百万円増加
 - ◆受取手形及び売掛金 : 80億36百万円減少
- ◆固定資産: 19億73百万円減
 - ◆有形固定資産 : 24億94百万円減少

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

添付資料

【単位:億円】

	10/6期	11/6期	増 減
(負債の部)			
流動負債	1,396	1,750	354
固定負債	717	466	△ 251
負債合計	2,113	2,216	103
(純資産の部)			
純資産合計	1,025	920	△ 105
負債及び純資産合計	3,138	3,136	△ 2

負債の部 : 103億13百万円増加

- 短期借入金 : 194億93百万円増加
- コマーシャル・ペーパー : 100億円増加
- 支払手形及び買掛金 : 9億64百万円減少
- 長期借入金 : 88億68百万円減少
- 新株予約権付社債 : 155億円減少

純資産の部: 104億81百万円減少

- ◆当期純損失 : 87億6百万円計上
- ◆配当金支払い : 10億36百万円

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

主な新設工場、新拠点の設立(2011/6期)・今後の予定

中国

■愛発科電子材料(蘇州)



◆2010年10月竣工

■愛発科真空技術(蘇州)
第3期工場増設(LED製造装置)

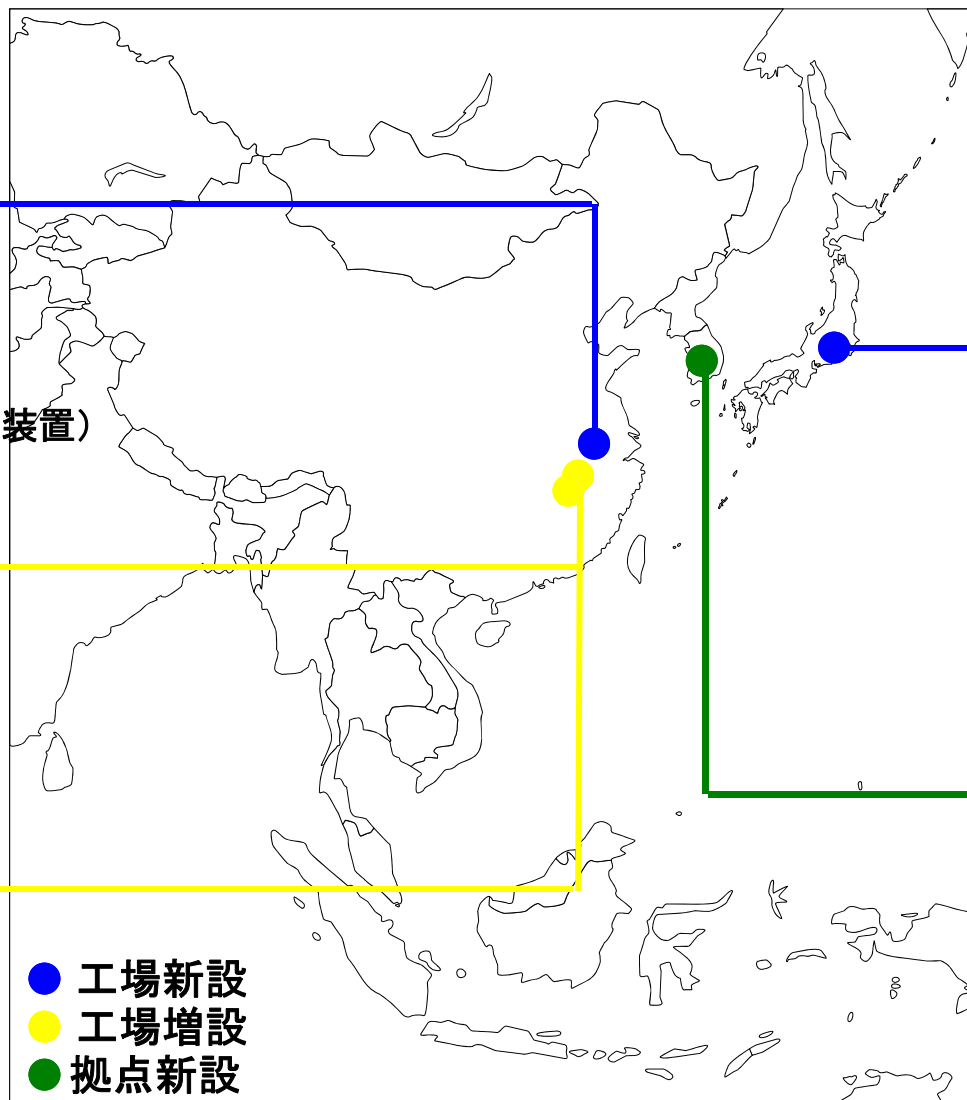


◆2010年10月竣工

■愛発科真空技術(蘇州)
大型装置製造工場増設



◆2011年12月竣工予定



日本

■千葉超材料研究所



◆2010年7月竣工
(千葉県富里市)

韓国

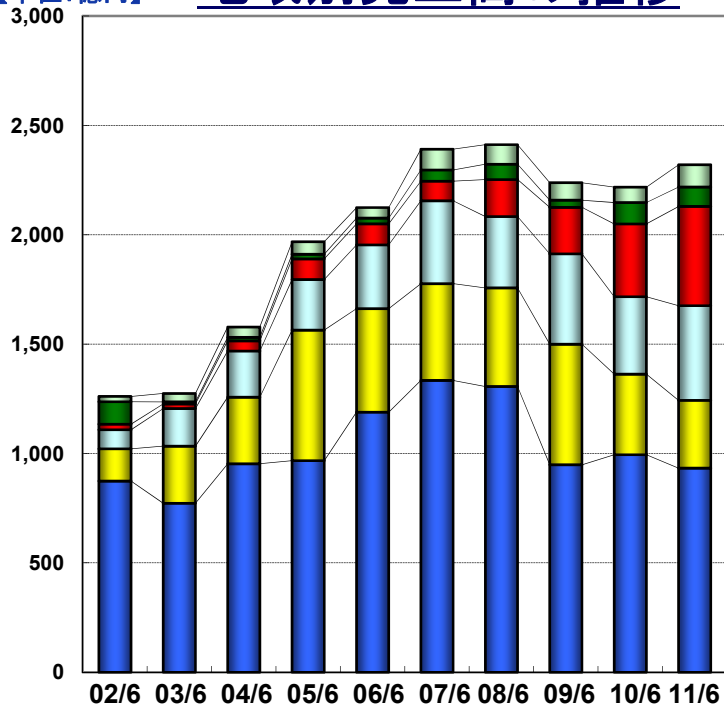
■韓国超材料研究所



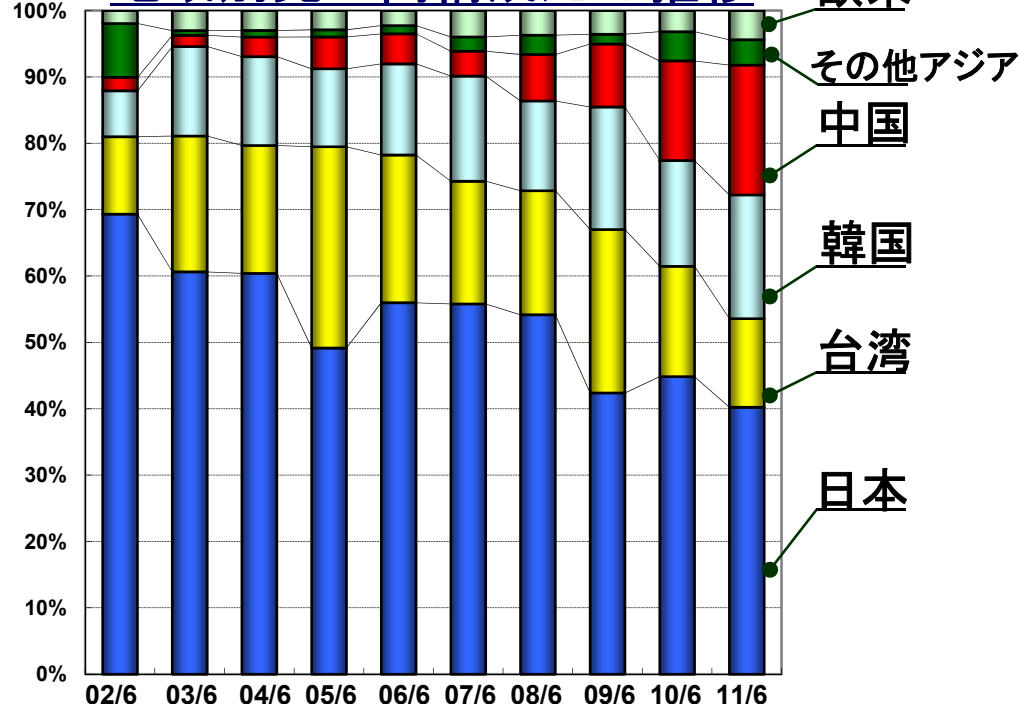
◆2011年7月開設
(大韓民国平澤市)

地域別売上高構成比の推移

【単位:億円】 地域別売上高の推移



地域別売上高構成比の推移



		02/6		03/6		04/6		05/6		06/6		07/6		08/6		09/6		10/6		11/6		
		売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	売上	比率	前年比
■	日本	874	69%	773	61%	953	60%	968	49%	1,189	56%	1,334	56%	1,307	54%	949	42%	995	45%	933	40%	-6%
■	台湾	147	12%	261	20%	304	19%	597	30%	473	22%	442	18%	451	19%	551	25%	369	17%	310	13%	-16%
■	韓国	87	7%	172	13%	211	13%	231	12%	292	14%	379	16%	326	14%	413	18%	354	16%	433	19%	22%
■	中国	26	2%	22	2%	47	3%	94	5%	96	5%	90	4%	169	7%	212	9%	333	15%	454	20%	36%
■	その他アジア	102	8%	9	1%	16	1%	21	1%	26	1%	51	2%	70	3%	33	1%	98	4%	89	4%	-9%
■	欧米	24	2%	38	3%	47	3%	57	3%	48	2%	95	4%	89	4%	80	4%	70	3%	102	4%	45%
	合計	1,261	100%	1,275	100%	1,579	100%	1,968	100%	2,125	100%	2,392	100%	2,412	100%	2,238	100%	2,218	100%	2,320	100%	5%

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

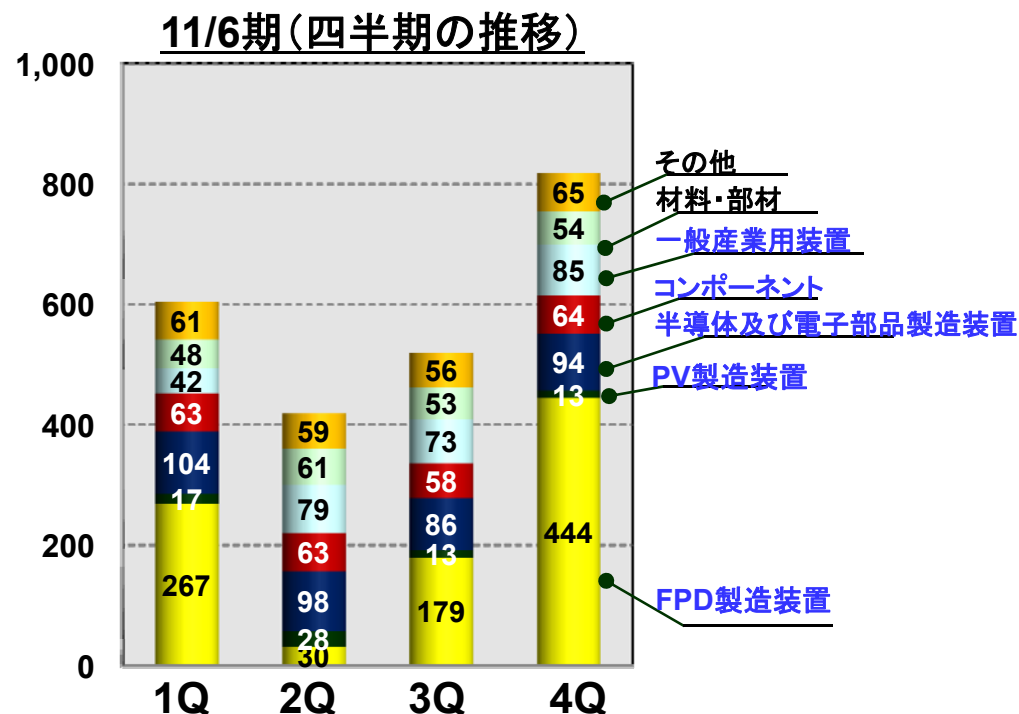
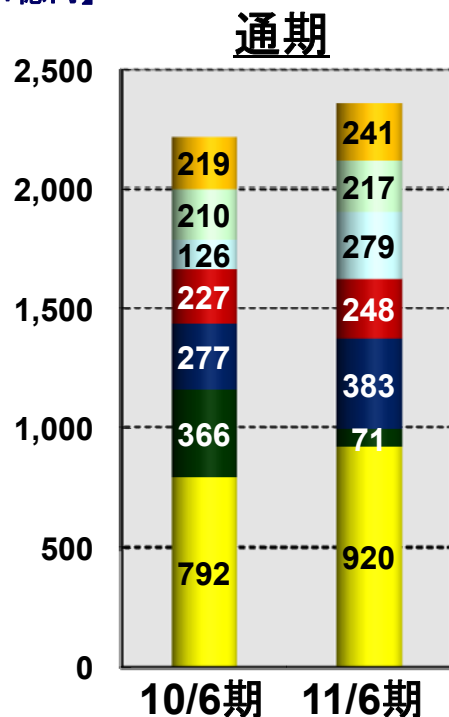
主な研究開発のテーマと成果

	主な研究開発のテーマ	主な成果
FPD製造装置	液晶ディスプレイ(TV用大型基板、LTPS)、有機ELディスプレイなど	①高精度インクジェットプリンティングシステム「S-200」の販売を開始 ②大型基板のIGZOプロセスの開発 ③低抵抗Cu配線プロセスの開発
PV製造装置	太陽電池(薄膜、結晶系、化合物系など)、高効率太陽電池	①RIEテクスチャー形成技術を用いた多結晶太陽電池の試作 ②色素増感型太陽電池における高速色素吸着プロセスの開発
半導体及び電子部品製造装置	不揮発メモリ、メモリ他 パワー半導体、MEMS、LED、高密度実装など	①次世代メモリ、不揮発性メモリ、ロジック対応PVD/CVDインテグレーション装置「ENTRONTMEX2 W300」の販売を開始 ②TSVターンキーソリューションをラインナップ。Siエッチング～メッキ工程までの製造装置とプロセスの販売を開始
コンポーネント	エネルギー・環境、バイオ	①小型高速分光エリプソメータ「UNECS-2000」の販売を開始
一般産業用装置	エネルギー・環境、ヘルスケア	①SABICイノベティブプラスチック Exatecと自動車用グレージングにPC樹脂の採用を加速するコーティング技術の量産化で技術提携 ②ロールtoロール方式によるフィルムコンデンサ製造技術の開発
材料・部材	新規機能性材料	①大型基板のIGZOプロセスの開発 ②低抵抗Cu配線プロセスの開発
その他	分析技術、制御、エネルギー・環境	①高性能で低価格な水蒸気透過率測定装置「AQ PassR」販売を開始 ②「光学薄膜カラーインサートフィルム」の販売を開始 ③制御ループを内蔵、制御システムとしてのコストダウンを計ることが可能な新型モータードライブユニットDrive MuLtiの販売を開始 ④熱伝導性高分子材料の研究開発・品質管理を支援するキセノンフラッシュ法熱拡散率測定装置「TD-1シリーズ」の販売を開始 ⑤冷却水を使わない空冷卓上型ランプ加熱装置「MILA-700AR」販売を開始 ⑥90°Cのお湯で3kW級の発電が可能な 高効率可搬型小型発電システムの開発

品目別受注高の実績

添付資料

【単位：億円】



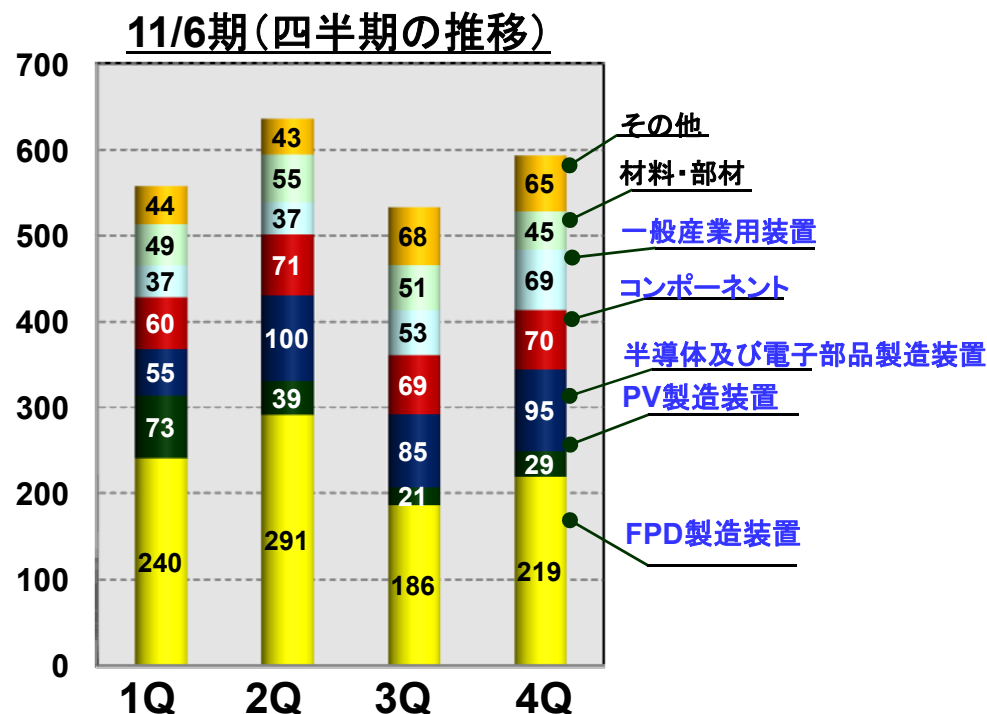
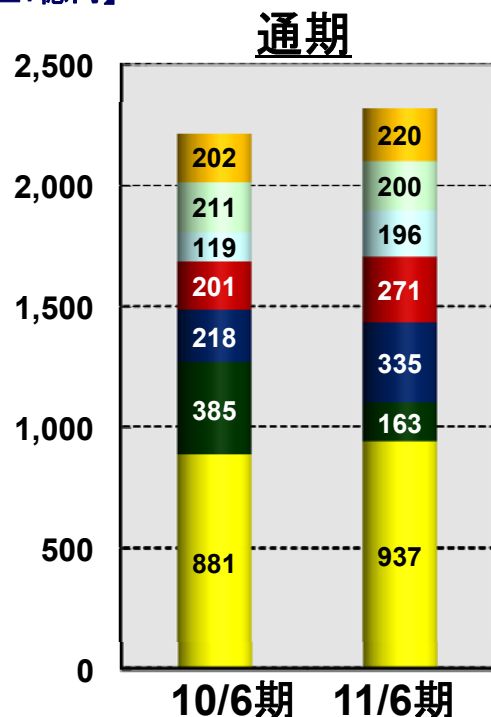
10/6期			11/6期		前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比	受注高	構成比	
真空機器事業	1,788	80.6%	1,901	80.6%	6.3%
FPD製造装置	792	35.7%	920	39.0%	16.2%
PV製造装置	366	16.5%	71	3.0%	-80.7%
半導体及び電子部品製造装置	277	12.5%	383	16.2%	38.2%
コンポーネント	227	10.2%	248	10.5%	9.4%
一般産業用装置	126	5.7%	279	11.8%	120.9%
真空応用事業	429	19.4%	459	19.4%	6.9%
材料・部材	210	9.5%	217	9.2%	3.4%
その他	219	9.9%	241	10.2%	10.2%
合計	2,217	100.0%	2,359	100.0%	6.4%

セグメント	1Q		2Q		3Q		4Q	
	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
真空機器事業	494	81.8%	299	71.2%	409	78.9%	699	85.4%
FPD製造装置	267	44.3%	30	7.2%	179	34.5%	444	54.2%
PV製造装置	17	2.8%	28	6.6%	13	2.5%	13	1.6%
半導体及び電子部品製造装置	104	17.2%	98	23.3%	86	16.7%	94	11.5%
コンポーネント	63	10.5%	63	15.1%	58	11.2%	64	7.8%
一般産業用装置	42	7.0%	79	18.9%	73	14.1%	85	10.4%
真空応用事業	110	18.2%	121	28.8%	109	21.1%	119	14.6%
材料・部材	48	8.0%	61	14.7%	53	10.3%	54	6.7%
その他	61	10.2%	59	14.1%	56	10.8%	65	7.9%
合計	604	100.0%	419	100.0%	518	100.0%	818	100.0%

品目別売上高の実績

添付資料

【単位：億円】

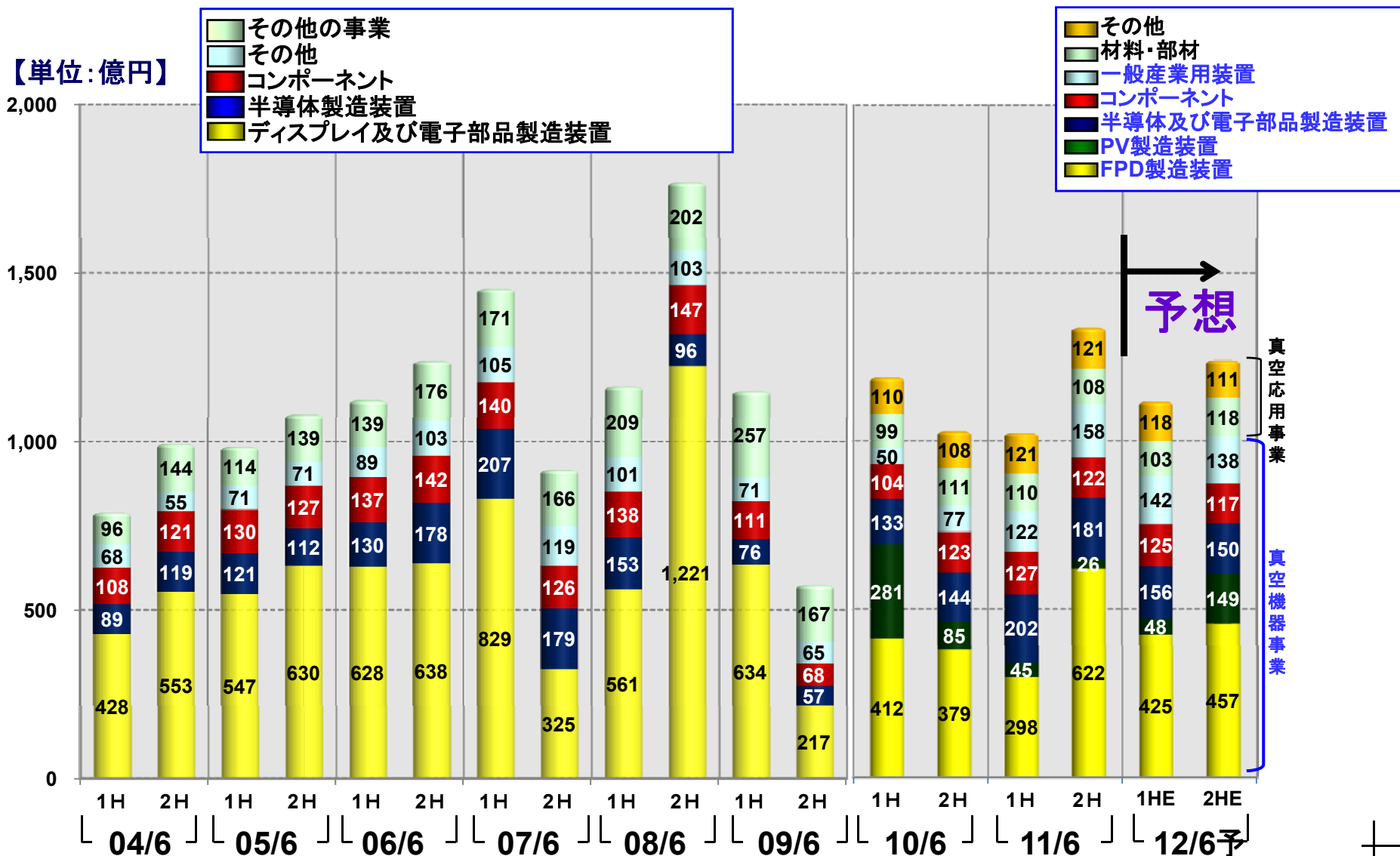


10/6期			11/6期		前年同期比 (増減率)
セグメント	売上高	構成比	売上高	構成比	
真空機器事業	1,805	81.4%	1,900	81.9%	5.3%
FPD製造装置	881	39.7%	937	40.4%	6.3%
PV製造装置	385	17.4%	163	7.0%	-57.8%
半導体及び電子部品製造装置	218	9.8%	335	14.4%	53.8%
コンポーネント	201	9.1%	271	11.7%	34.4%
一般産業用装置	119	5.4%	196	8.4%	63.9%
真空応用事業	413	18.6%	420	18.1%	1.7%
材料・部材	211	9.5%	200	8.6%	-5.0%
その他	202	9.1%	220	9.5%	8.8%
合計	2,218	100.0%	2,320	100.0%	4.6%

セグメント	1Q		2Q		3Q		4Q	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
真空機器事業	465	83.4%	539	84.6%	414	77.6%	483	81.4%
FPD製造装置	240	43.1%	291	45.7%	186	34.9%	219	37.0%
PV製造装置	73	13.1%	39	6.2%	21	3.9%	29	5.0%
半導体及び電子部品製造装置	55	9.8%	100	15.7%	85	15.9%	95	16.0%
コンポーネント	60	10.8%	71	11.2%	69	12.9%	70	11.8%
一般産業用装置	37	6.6%	37	5.8%	53	9.9%	69	11.6%
真空応用事業	93	16.6%	98	15.4%	119	22.4%	110	18.6%
材料・部材	49	8.8%	55	8.7%	51	9.6%	45	7.6%
その他	44	7.8%	43	6.7%	68	12.8%	65	11.0%
合計	557	100%	636	100%	533	100%	593	100%

品目別受注高推移・予想

添付資料



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

品目別売上高推移・予想

【単位:億円】

2,000

- その他の事業
- その他
- コンポーネント
- 半導体製造装置
- ディスプレイ及び電子部品製造装置

- その他
- 材料・部材
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- PV製造装置
- FPD製造装置

1,500

1,000

500

0

1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H 1H 2H

05/6 06/6 07/6 08/6 09/6 10/6 11/6 12/6予

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

予想

真空応用事業
真空機器事業

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC